

平成24年度

市民アンケート実施結果

報 告 書

平成24年8月

鹿角市総務部政策企画課

目 次

I	実施概要	1
II	回収状況	2
III	調査の総括	
1.	共働について	3
2.	公共交通について	3
3.	市街地の整備について	4
4.	公園の環境について	4
5.	スポーツの実施状況について	4
6.	地域コミュニティについて	5
7.	男女共同参画の状況について	5
8.	地域医療について	6
9.	鹿角市が他のまちに誇れるものについて	6
10.	市の施策について	6
IV	設問別集計結果	
1.	共働について	8
2.	公共交通について	10
3.	市街地の整備について	14
4.	公園の環境について	16
5.	スポーツの実施状況について	18
6.	地域コミュニティについて	20
7.	男女共同参画の状況について	22
8.	地域医療について	24
9.	鹿角市が他のまちに誇れるものについて	32
10.	市の施策について	34
11.	自由意見	40

I 実施概要

1 実施目的

本市では、平成23年度から32年度を計画期間とする「第6次鹿角市総合計画（以下、「総合計画」と呼びます。）」において、市の将来のあるべき姿として、「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を将来都市像として定め、その実現を目指しています。この調査は、総合計画の推進を図るため、市が導入している行政評価制度の外部評価の一環として、総合計画を構成する各施策の進捗状況を成果指標として確認するほか、施策の効果とニーズ（需要）を調査・把握するとともに、市民の意識や意見等を集約し、今後の施策推進に活用することを目的としています。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1. あなた自身について	居住地区、性別、年代の確認	—
2. 共働について	共働の認知度の把握	市民共働課
3. 公共交通について	バス等に不便を感じる方の割合と不便の要因の把握	市民共働課
4. 市街地の整備について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	都市整備課
5. 公園の環境について	公園整備状況に対する満足度と不満要因の把握	都市整備課
6. スポーツの実施状況について	スポーツ活動の頻度、実施しているスポーツ、運動時間の把握	スポーツ振興課
7. 地域コミュニティについて	社会活動、地域活動への参加頻度の把握	市民共働課
8. 男女共同参画の状況について	ワーク・ライフ・バランスの認知度、地域内の共同参画状況の把握	市民共働課
9. 地域医療について	かかりつけ医を持っている割合、在宅当番医の利用割合の把握	健康推進課
10. 鹿角市が他のまちに誇れるものについて	調査結果を市民間で情報共有し、市域内のブランド意識の確立を促進する	産業連携推進室
11. 効果が得られていると感じる施策について	施策の効果が市民にどのように受け止められているかを調査し、施策の評価に活かす	政策企画課
12. もっと力を入れるべき施策について	施策に対する市民ニーズを調査し、施策の優先度等の検討に活かす(5つのプロジェクト以外に特に市民ニーズが高いものを探る)	政策企画課
13. 自由記入	—	—

3 実施期間

平成24年5月30日（水）から6月15日（金）まで

4 実施対象

平成24年5月30日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢18歳以上74歳以下の市民700人。

※上記700人の抽出にあたっては、性別、年齢及び地域条件を考慮し均衡を図ったほか、平成21年度から23年度に実施した政策アンケート及び市民意識調査の対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 職員による回収及び郵便（受取人払い）による回収

Ⅱ 回収状況

1 回収率

68.7% (481 人／700 人)

2 回答者の属性

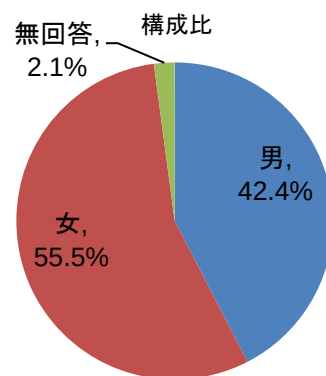
市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は以下のとおりです。構成比（※1）は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何％を占めているかを表しています。回収率（※2）は、その区分の対象者数のうち何％が回答を寄せたかを表しています。

※1 構成比 = その区分に属する対象者数（回答者数） ÷ 全対象者数（全回答者数）

※2 回収率 = その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

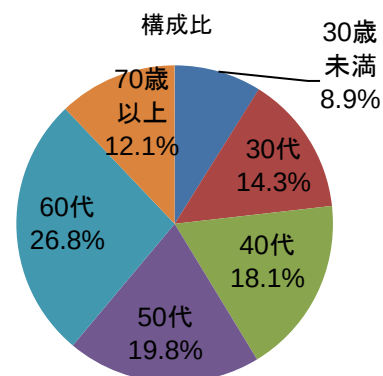
（1）男女別

	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男	329	47.0%	204	42.4%	62.0%
女	371	53.0%	267	55.5%	72.0%
無回答			10	2.1%	
計	700	100.0%	481	100.0%	68.7%



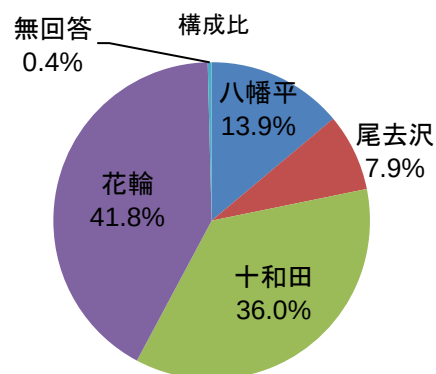
（2）年代別

	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
30 歳未満	88	12.57%	43	8.9%	48.9%
30 代	116	16.57%	69	14.3%	59.5%
40 代	109	15.57%	87	18.1%	79.8%
50 代	146	20.86%	95	19.8%	65.1%
60 代	166	23.71%	129	26.8%	77.7%
70 歳以上	75	10.71%	58	12.1%	77.3%
計	700	100.00%	481	100.0%	68.7%



（3）地区別

	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
八幡平	104	14.86%	67	13.9%	64.4%
尾去沢	60	8.57%	38	7.9%	63.3%
十和田	230	32.86%	173	36.0%	75.2%
花輪	306	43.71%	201	41.8%	65.7%
無回答	-	-	2	0.4%	-
計	700	100.00%	481	100.0%	68.7%



※各設問における項目選択の割合（％）は、四捨五入の関係で合計が100％にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括

1. 共動について

共動認知度	52.8%	⇒詳細 P8
--------------	--------------	--------

「共動」が浸透した背景は、地域づくり協議会等による市民センターの運営や共動パートナー制度の運用、自治会活動への支援などの取り組みによって、市広報や新聞メディアに取り上げられる機会が増えたことが大きく影響していると考えられます。

今後も周知を継続することによって、認知度が広まっていくことが期待できます。

共感できるかどうかについては、着実に理解が図られておりますが、共感できない理由として、「市民への押し付けに感じる」といった指摘が依然としてみられます。

今後も、「共動」の意識を高めるための具体的な取り組みの充実と取り組み状況に関する一層の情報提供や周知が求められます。

2. 公共交通について

公共交通に不便を感じる市民の割合	33.7%	⇒詳細 P10
-------------------------	--------------	---------

調査の結果、不便を「感じる」と回答した割合は33.7%と、「感じない」と回答した割合9.8%を大きく上回っています。また、不便を「感じる」と回答した割合は、昨年の19.3%から10ポイント以上増加しています。

普段の移動手段としては、自家用車との回答が最も多く88.4%を占める一方、「バス」や「鉄道」との公共交通機関と回答した割合は、わずか12.3%にとどまっています。

バス路線の維持のため、運行コストの削減のほか、利便性の確保や利用促進対策に取り組んできていますが、必ずしも成果として表れていないことから、利用者のニーズに対応できるようなバス交通の環境づくりに努めてまいります。

3. 市街地の整備について

中心市街地の環境に満足している市民の割合	53.7%	⇒詳細 P14
-----------------------------	--------------	---------

（仮称）学習文化交流施設の整備計画に関連し、接続する市道の整備と花輪駅前広場の整備を中心に位置づけながら、花輪市街地の環境整備を図る計画としています。

単純に環境整備だけをして、まちづくりの活性化には結びつかないことも懸念されることから、市街地の機能や住環境を向上させ、安心して住み続けられるためには、商工業施設、公共交通との連携が必要であり、重要な課題と受け止めております。

また、市が位置づけている中心市街地と市民意識とのズレが感じられるため、まちづくり基本構想や中心市街地活性化計画をよりPRする必要があると考えます。

4. 公園の環境について

公園の環境に満足している市民の割合	58.0%	⇒詳細 P16
--------------------------	--------------	---------

平成 22 年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、遊具、ベンチ等の整備を進めています。桜山地区公園の改修に続き、毛馬内街区公園の小型遊具の設置については、これまでとは違う特色ある魅力的な公園を目指し整備しました。

公園内の維持管理については、地元自治会や老人クラブ等に委託しているため、概ね管理は行き届いておりますが、公園の利用状況が多い時期や草刈時期など、管理状態が良好でない場合もあることから、管理人と連携をとり、定期的な状況把握、管理に努めます。

また、各公園の規模にあった機能とし、利用価値を高めていく方策を考えてまいります。

5. スポーツの実施状況について

週1回以上の頻度で運動する市民の割合	22.8%	⇒詳細 P18
---------------------------	--------------	---------

運動やスポーツに取り組もうとする意識は、余暇の過ごし方の多様化からか、なかなか進まない状況にあります。日常的なスポーツ活動を促すためのきっかけづくりとして、“健康づくりと密接な係わりがある、との意識を醸成する必要があります。

また、30 歳～60 歳代の働き盛りの世代の実施率が平均値より低い状況にあります。スポーツイベントの開催や総合型地域スポーツクラブ等の活動支援を行っていくこと、さらには、日常的な軽運動の習慣化を図ることで市民がスポーツに触れる機会を充実させる必要があります。

6. 地域コミュニティについて

社会活動・地域活動の参加割合 **61.7%**

⇒詳細 P20

個人の社会活動や地域活動への参加状況は、地域コミュニティの活性化を図る上で、重要なデータとなります。

昨年1年間に社会活動や地域活動に参加した割合は、61.7%と基準値である46.8%（秋田県県民意識調査）を昨年に引き続き大きく上回っており、全体としては地域コミュニティへの参加は、進められてきていると思われます。

しかし、若年層や女性の参加率は上昇しているとはいえ、依然として平均値より低い状況にあります。

今後の地域コミュニティを維持していくには、若年層の積極的な参加が不可欠なことから、参加率向上につながる啓発をホームページ、新聞メディア等を通じて積極的に取り組む必要があります。

7. 男女共同参画の状況について

ワーク・ライフ・バランス認知度 **26.6%**

⇒詳細 P22

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度については、26.6%となっており、昨年より若干の改善がみられます。

しかし、平成19年頃から使われている新しい言葉でもあることから、引き続き認知度を高めていく必要があります。

また、男女の地位の平等感については、59%が「男性が優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」と答えており、男女の地位はいまだ平等ではなく、男性の方が優遇されていると感じている人が多いのが現状です。

こうした状況を改善し、あらゆる分野で、性別にかかわらず個性・能力を発揮できる社会をつくっていきけるよう、若年層も含めた情報や学習の機会を提供していく必要があります。

8. 地域医療について

かかりつけ医を持っている市民の割合

49.5%

⇒詳細 P24

市が地域医療に関わる役割として最も大きなものは、民間の医療機関において充足できていない部分を補うことであり、医療体制の構築は医療機関だけでなく、市民・行政が一体となって取り組んでいかなければなりません。

今回の市民アンケートでは、地域で限られた医療資源をいかに利用していくか、また、適正に受診するかを調査しました。

特に、かかりつけ医を持つことについては、一次医療機関としての位置付けを啓発するために実施したもので、昨年の 51.2%と比較し 49.5%と低くなりましたが、今年度、全戸に医療機関の一覧を配布するなどにより周知を進めていくこととしています。

また、在宅当番医については、日ごろから利用することがないという意見がある一方、利用したことで完治することができたという意見もあることから、制度の継続的な実施が必要です。また、制度の詳細が理解されていないことが明確となりましたので、前述の医療機関一覧により周知を徹底するとともに、制度のあり方について医師会とアンケート結果に基づき協議していきます。

9. 鹿角市が他のまちに誇れるものについて

⇒詳細 P32

市民が他のまちに誇れると考えているものを別表（P32）のとおりまとめました。

これらは本市の強みでもあり、これらを伸ばすことが本市の魅力向上につながると考えられますが、回答率の低さを鑑みれば、これらの誇りが市民の多くに共有されているとまでは言えない状況です。したがって、まずはこの想いを市民間で共有することが必要と考えられます。

そして、市民以外にもこれらの誇りを上手に伝えることで、「地域（都市）ブランド」の向上に繋がることが期待されます。

10. 市の施策について

- ・市が進めている取り組みの中で、効果が得られていると感じるもの
- ・市が進めている取り組みの中で、もっと力を入れて欲しいと感じるもの

⇒詳細 P34

効果が得られていると感じられるものとして高い評価を得た施策は、順に「12. 高齢者福祉の充実」「11. 子育て支援の充実」「14. 健康づくりの推進」「34. スポーツ環境の充実」「8. 観光の振興」でした。

また、もっと「力」を入れて欲しいと感じるものについては、順に「7. 雇用環境の充実」「16. 地域医療体制の充実」「5. 商店街の活性化」「4. 高齢者福祉の充実」「5. 観光の振興」と、市が重点プロジェクトとして掲げるものが、どちらに対しても上位を占める結果となり、引き続き重点的・戦略的に取り組む必要があります。

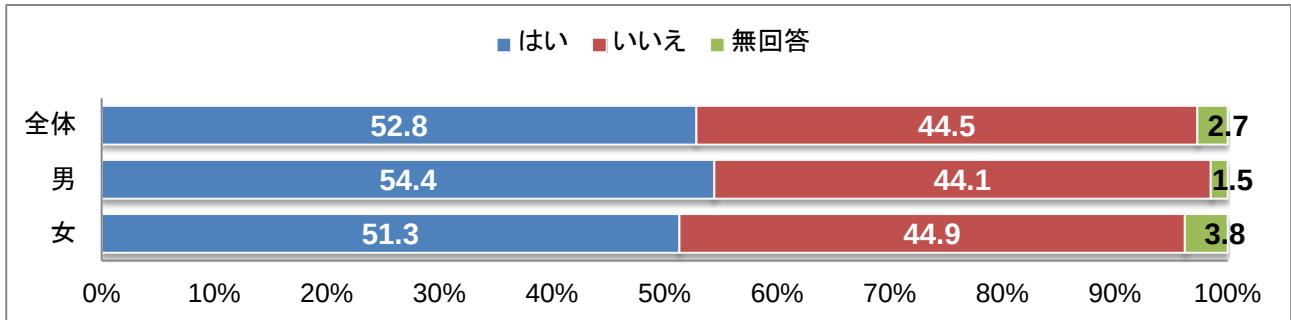
IV 設問別集計結果

1 共動について

設問②－１ 「共動」という言葉を聞いたことがありますか。

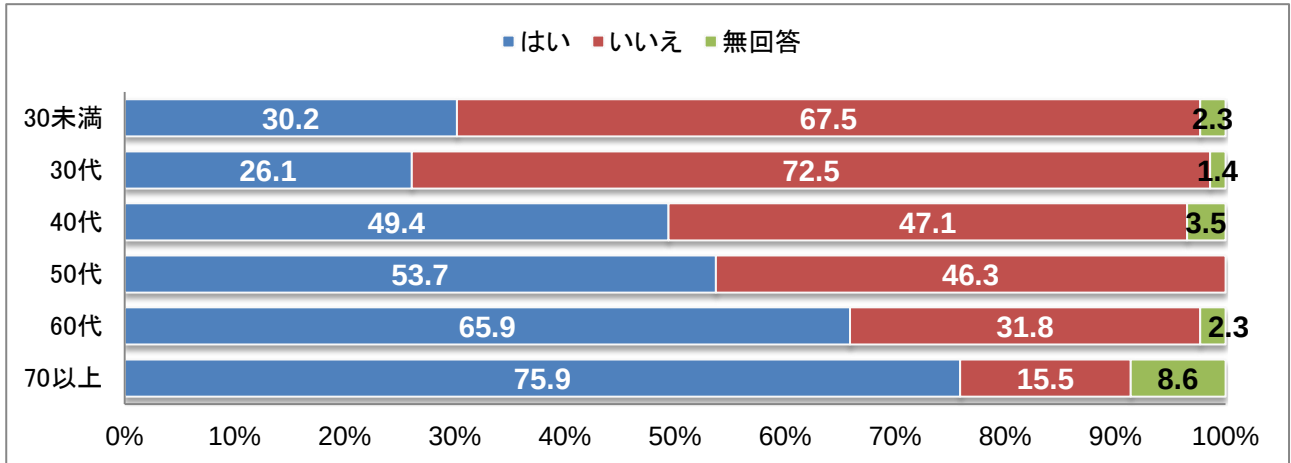
①全体／男女別

[単位：％]



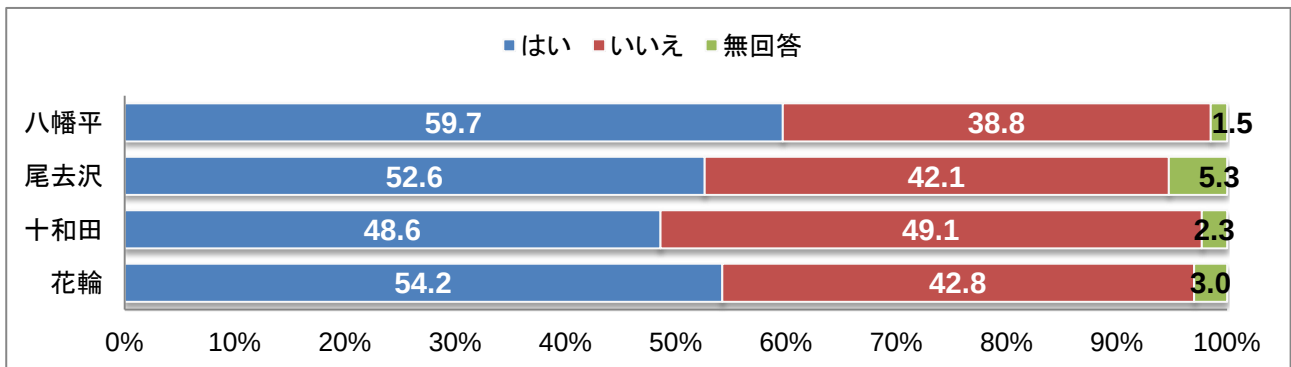
②年齢別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

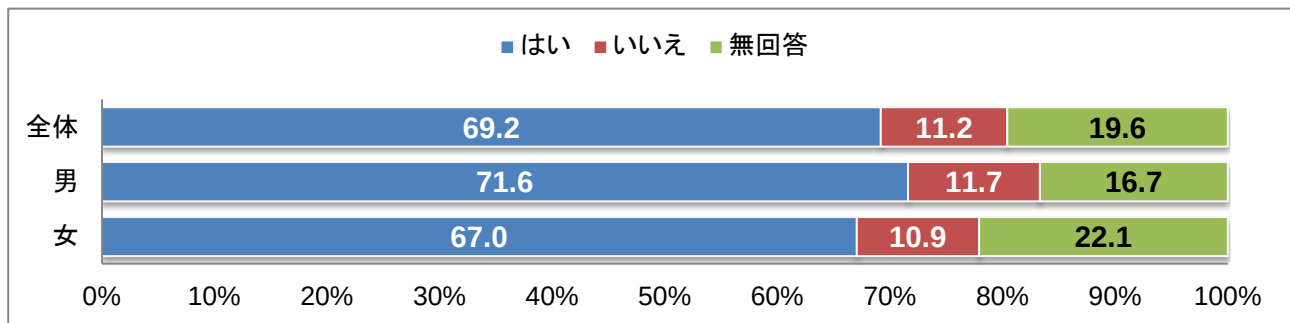
「共動」の言葉を知っている人の割合は52.8%となりました。昨年度の53.7%から0.9ポイント低下しておりますが、平成22年度から50%を超えた割合が続いていることから、着実に「共動」が浸透してきていることが分かります。

年代別では、50代以上では平均を超えるポイントとなっておりますが、30歳未満、30代といった若年層の認知度の割合が低くなっています。

設問②－２ 「共動」に共感できますか。

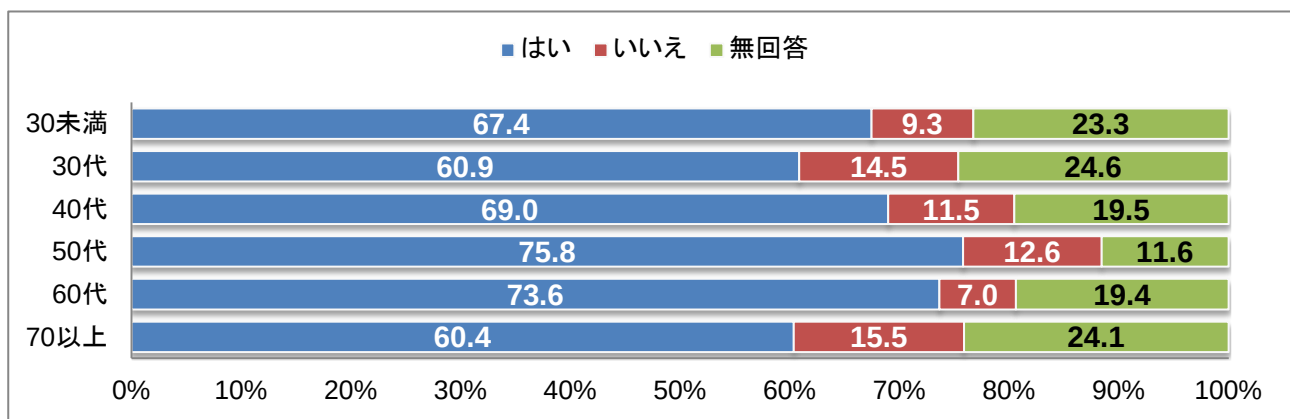
①全体／男女別

〔単位：％〕



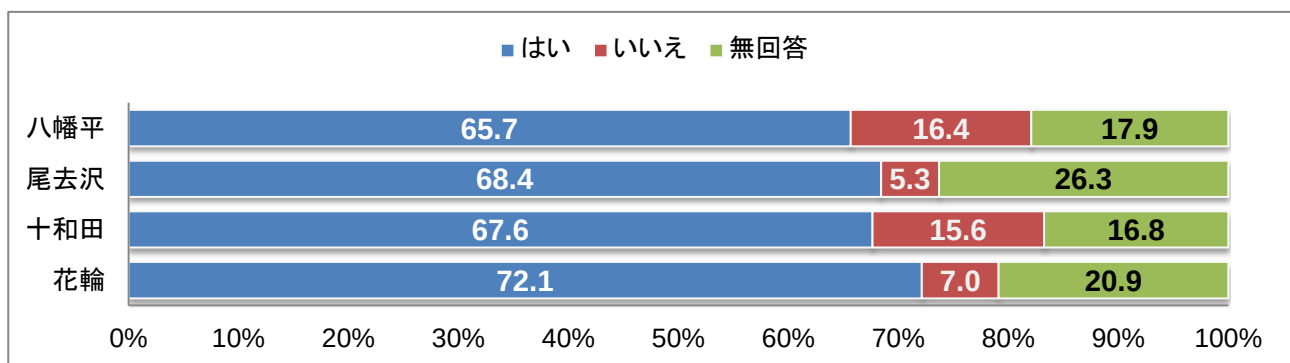
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

共感できるかどうかについては、69.2％が共感できるとしており、昨年度の70.3％から若干低下しておりますが、約7割の方に理解されていることが分かります。

共感できないとした割合は11.2％と、昨年度とほぼ同じ割合となっております。

共感できない理由として、「市民への押し付けに感じる」といった指摘が依然としてみられ、市民に負担を強いるものという印象が根強いことが伺えます。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

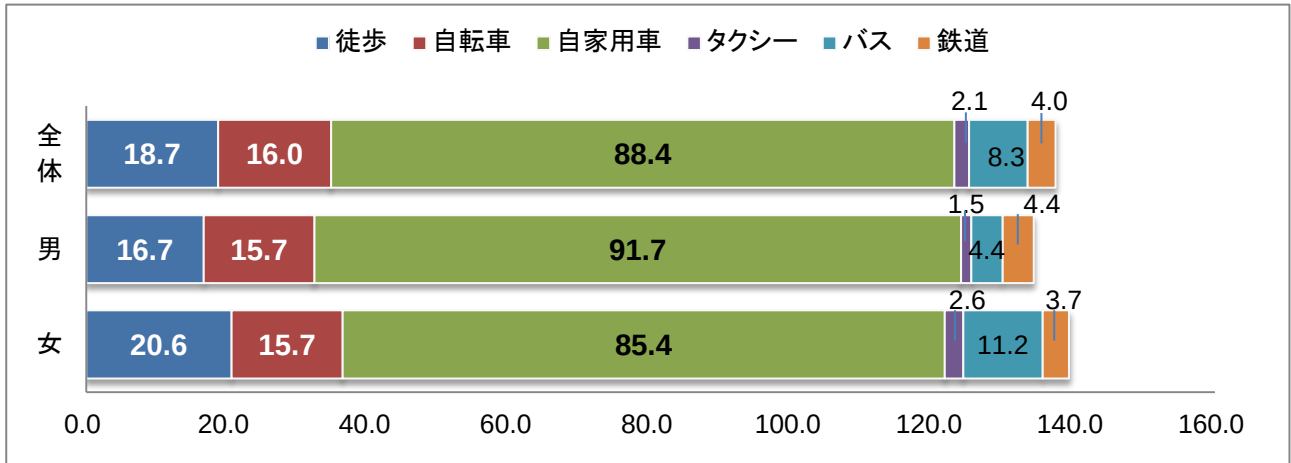
成果指標	基準値	実績値(H24)	目標値(H27)
共動認知度	56.5%	52.8%	60.0%

2 公共交通について

設問③-1 普段、移動手段に何を利用していますか（複数回答可）。

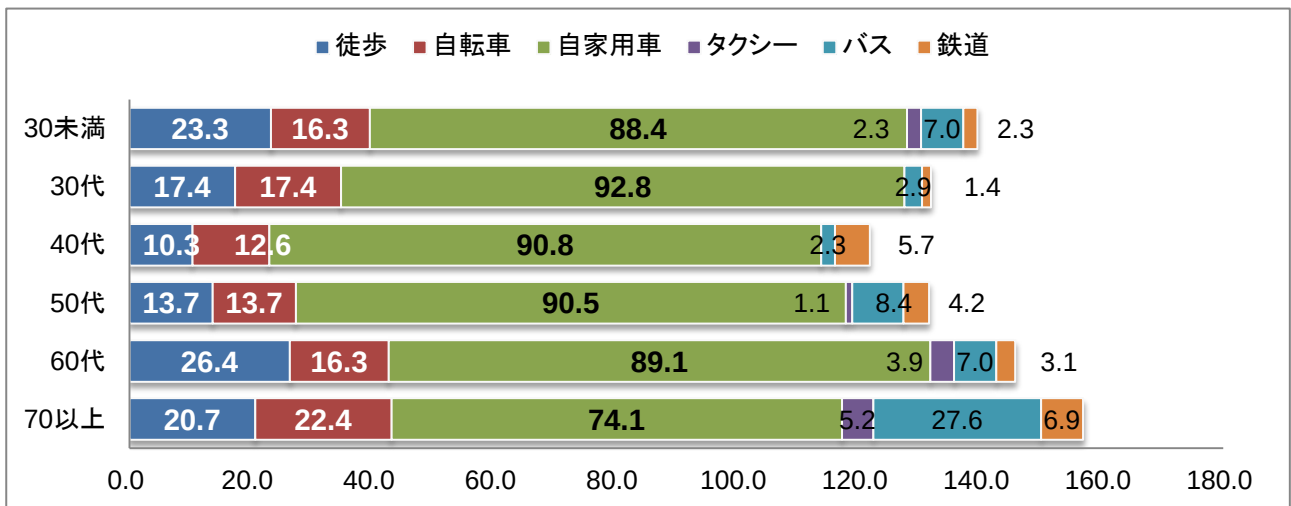
①全体／男女別

〔単位：％〕



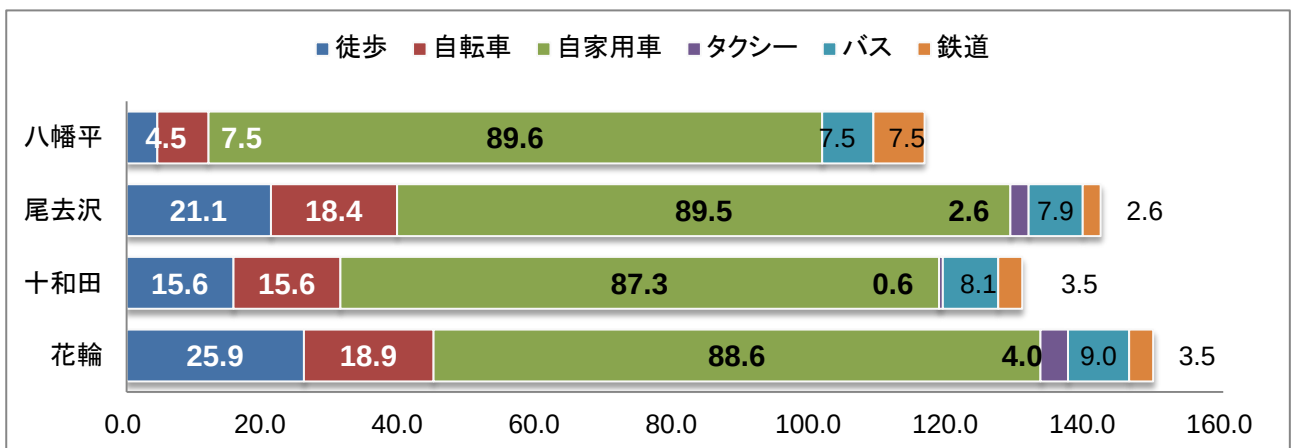
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

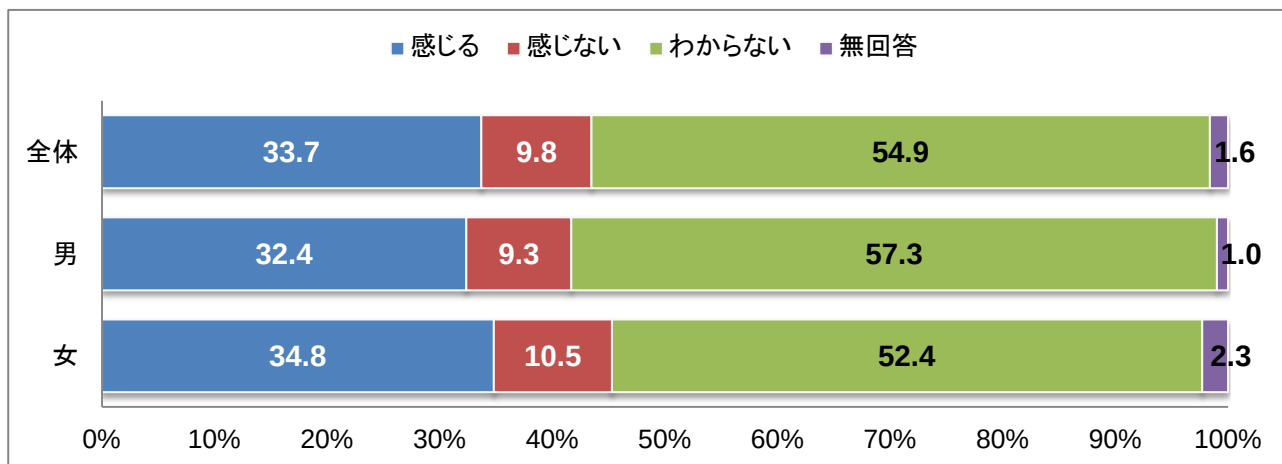
〔単位：％〕



設問③-2 あなたは、普段の生活の中で、バスや鉄道などの公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

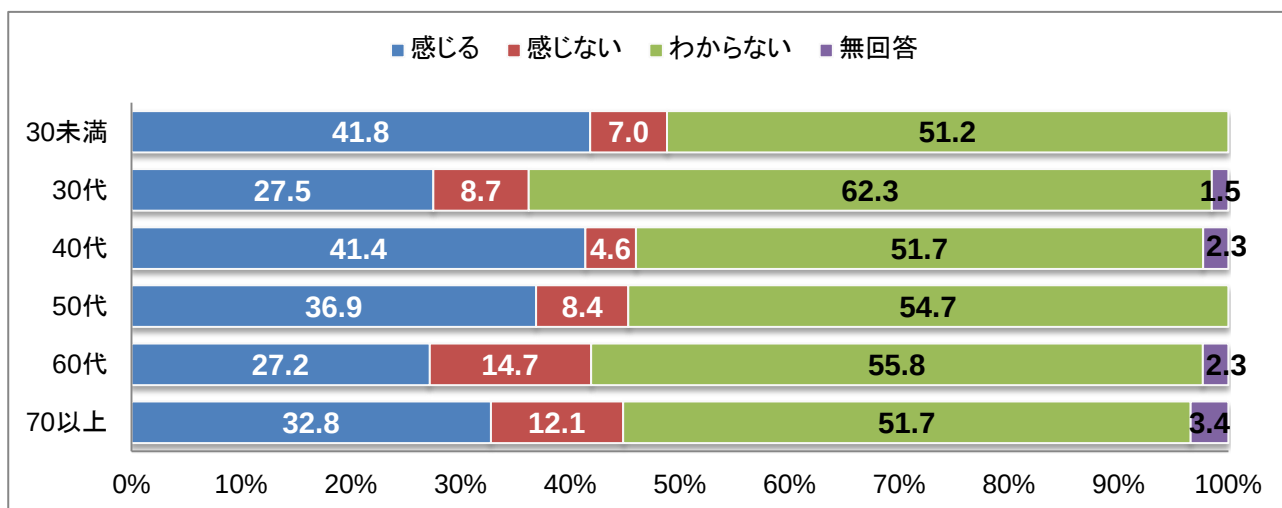
①全体／男女別

〔単位：％〕



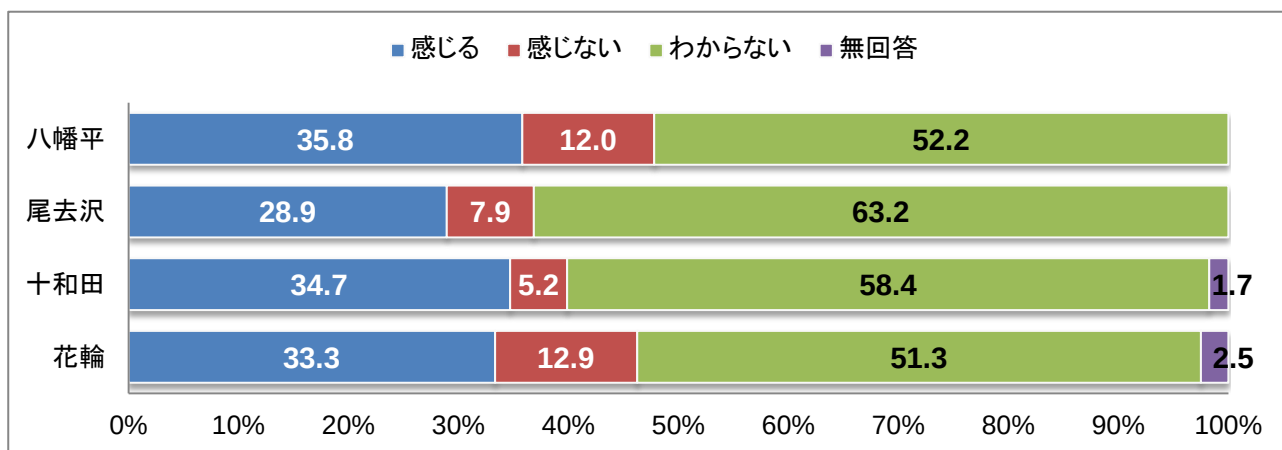
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

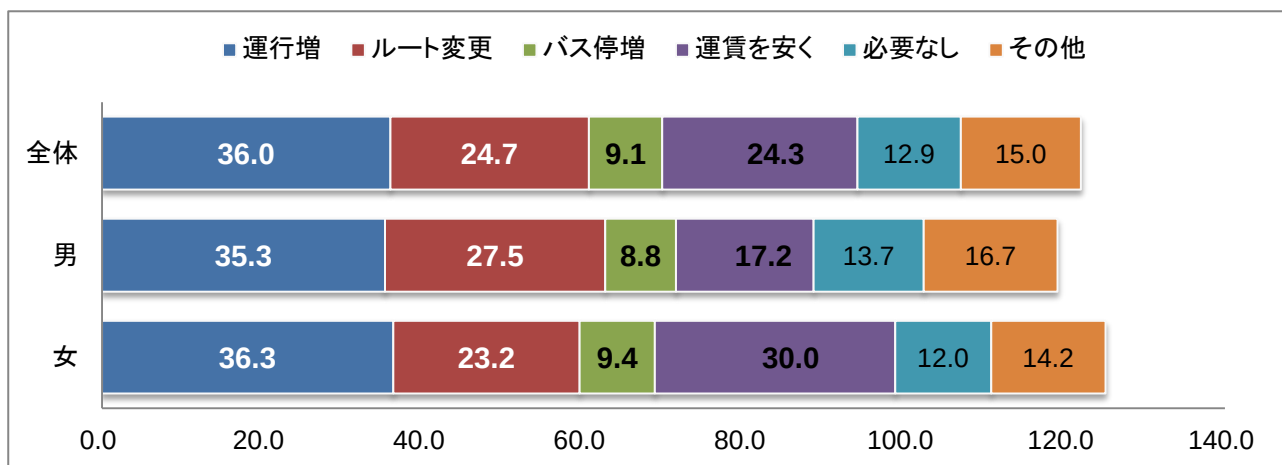
〔単位：％〕



設問③-3 路線バス（高速バスを除く）をもっと利用しやすくするため、改善してほしいのはどれですか？（複数回答可）

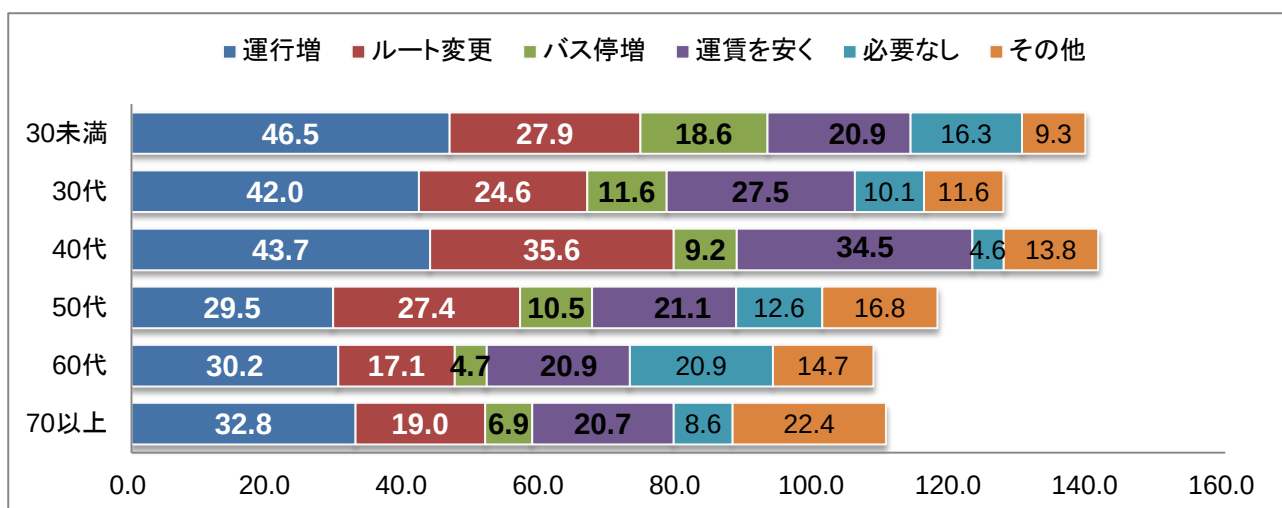
①全体／男女別

〔単位：％〕



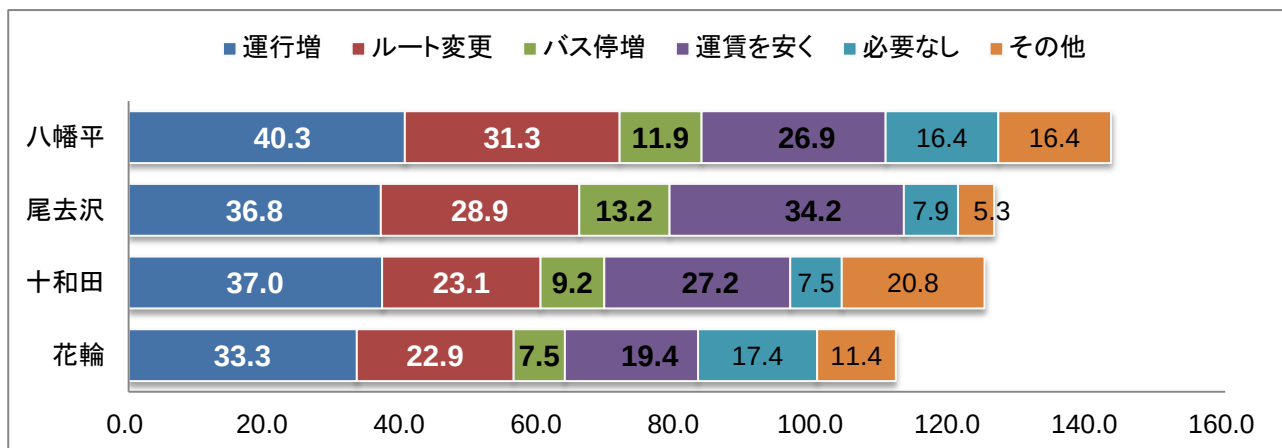
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



分析結果

全体では不便に「感じる」が 33.7%、「感じない」が 9.8%となり、昨年と比較すると、「感じる」が 14.4 ポイント増加、「感じない」が 6 ポイント減少しています。年代別にみても、不便を「感じる」との回答が最も少ない 30 歳代においても 27.5%となっており、30 歳未満と 40 歳代においては、不便を「感じる」との回答が 40%を超えています。

路線バスの運行状況は、昨年と比較して大きな変更がないものの、調査結果が大きく後退となる結果となったことから、不便さの解消に向けて原因を調査し、対応策を練る必要があります。

また、普段の交通手段としては、自家用車が圧倒的に多く、バスは 8.3%、鉄道は 4.0%と、公共交通があまり利用されていない様子が表れています。さらに、バスを利用しやすくするための改善点については、「運行本数を増やす」が 40 歳代以下において 40%を超えるなど最も多く、運行本数の確保が利用しやすい環境につながるという意向が表れています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

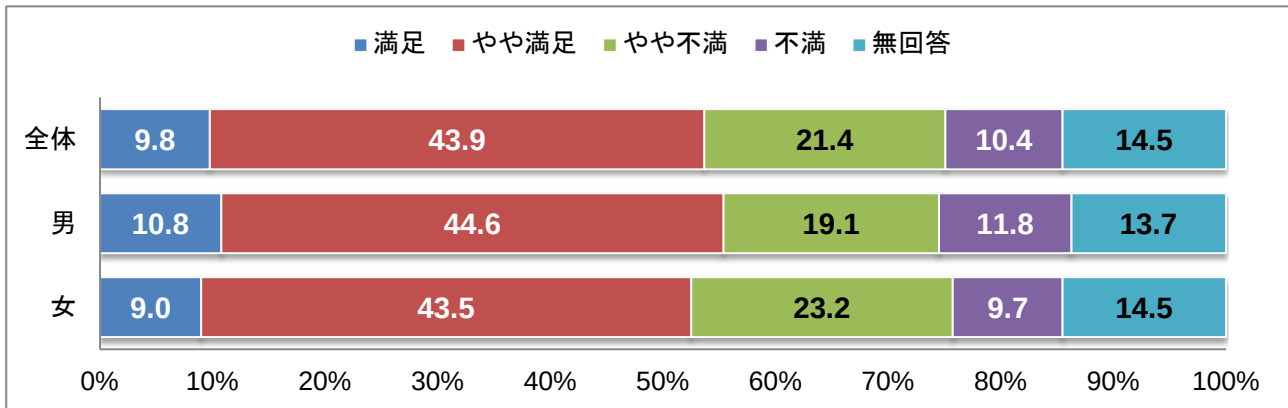
成果指標	基準値	実績値 (H24)	目標値 (H27)
公共交通に不便を感じる市民の割合	24.6%	33.7%	19.5%

3 市街地の整備について

設問④ あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

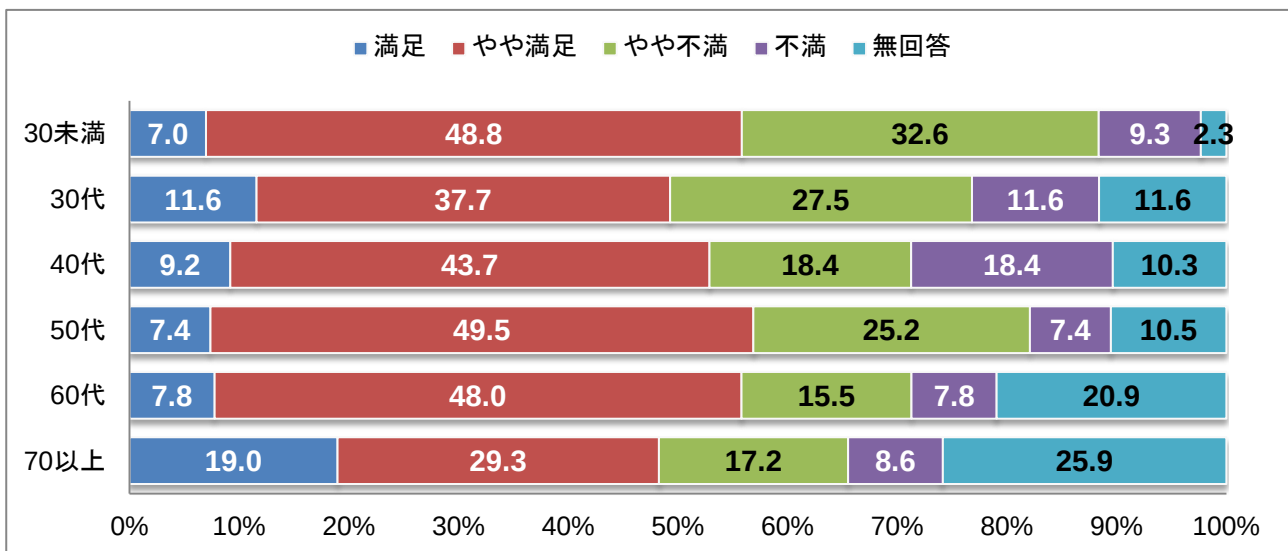
①全体／男女別

〔単位：％〕



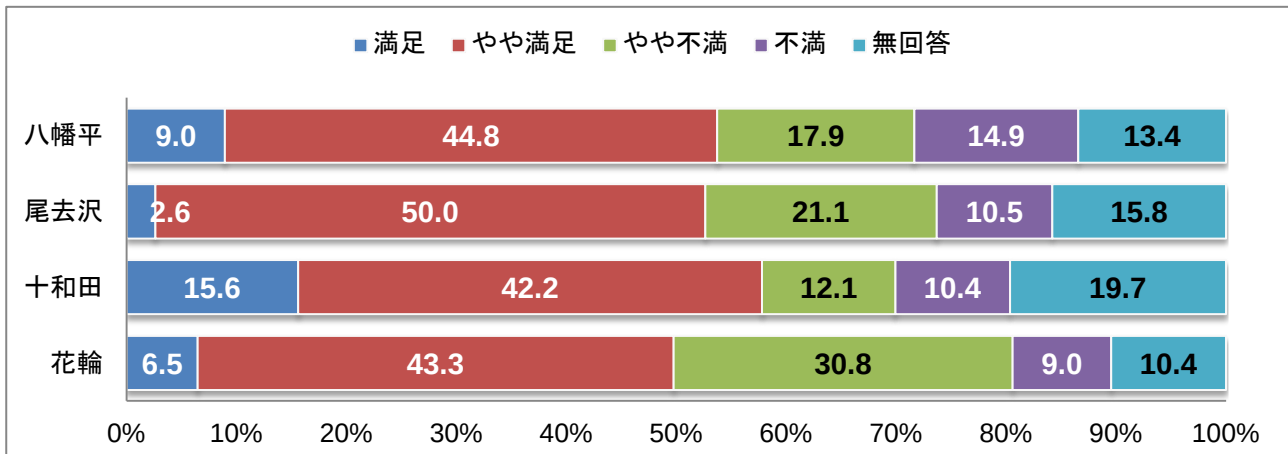
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

「満足」、「やや満足」の割合は、53.7%と昨年よりも 4.9 ポイント上昇しました。「満足」、「やや満足」の割合は各年代に大きな差はないものの、30 代と 70 歳以上の満足度が低くなる結果となりました。

不満な理由としては、「公共施設が少ない」、「買い物が不便」、「駐車場が少ない」といった意見が多く見られます。施設の集約化が中心市街地に必要だとする意見がある反面、「公共施設が近くにない」「(設問が住んでいる地区ではないので) 関心がない」という意見もあり、行政区域が広いが故に、市が位置づける中心市街地と市民意識とのギャップが感じられます。

各地域のバランスも必要ではありますが、花輪を中心市街地として位置づけるだけの中心的機能の充実や施設の整備を進めていく必要があります。

駐車場不足については、自動車交通への依存度が高いことから、商店や公共施設の前に駐車し、簡単に買物や用事を足すことができなければ、それを不便と感じているものと思われ、駐車場の絶対数が少ないという意味ではないと捉えています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

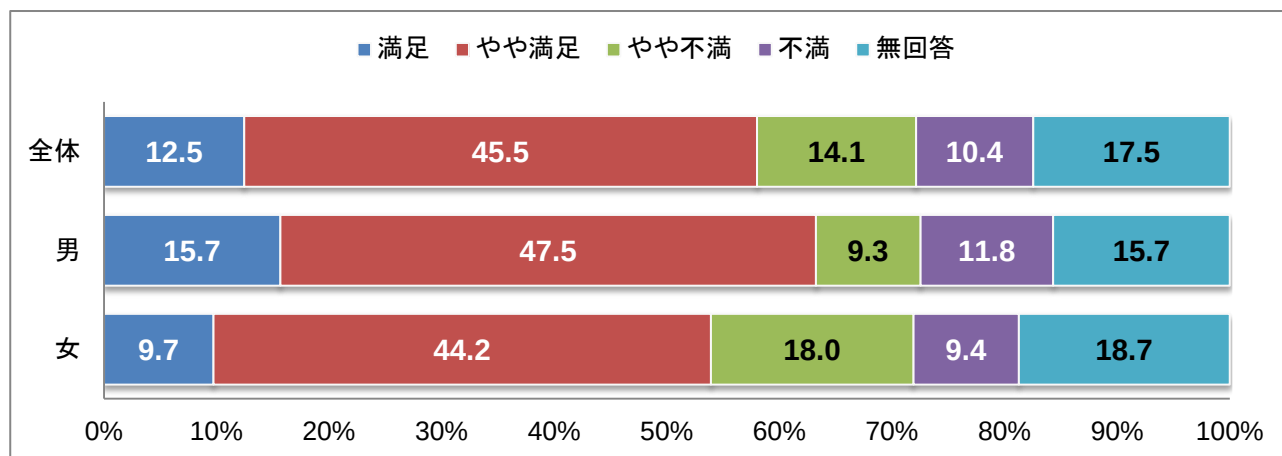
成果指標	基準値	実績値 (H24)	目標値 (H27)
中心市街地の環境に満足している 市民の割合	20.2%	53.7%	52.0%

4 公園の環境について

設問⑤ あなたは、市内の公園の整備状況に満足していますか。

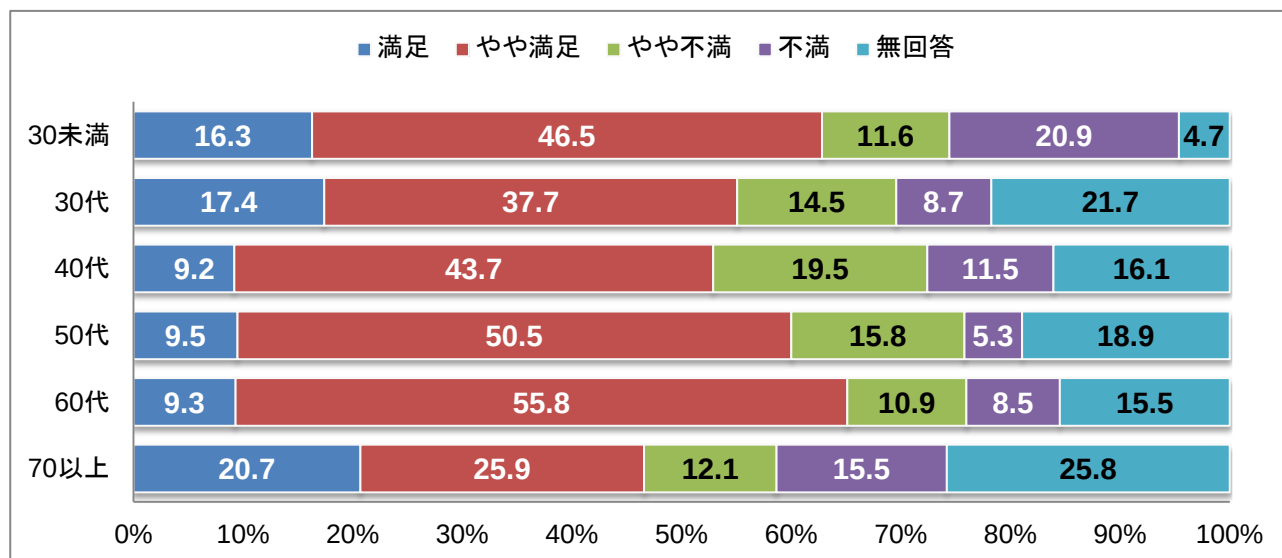
①全体／男女別

〔単位：％〕



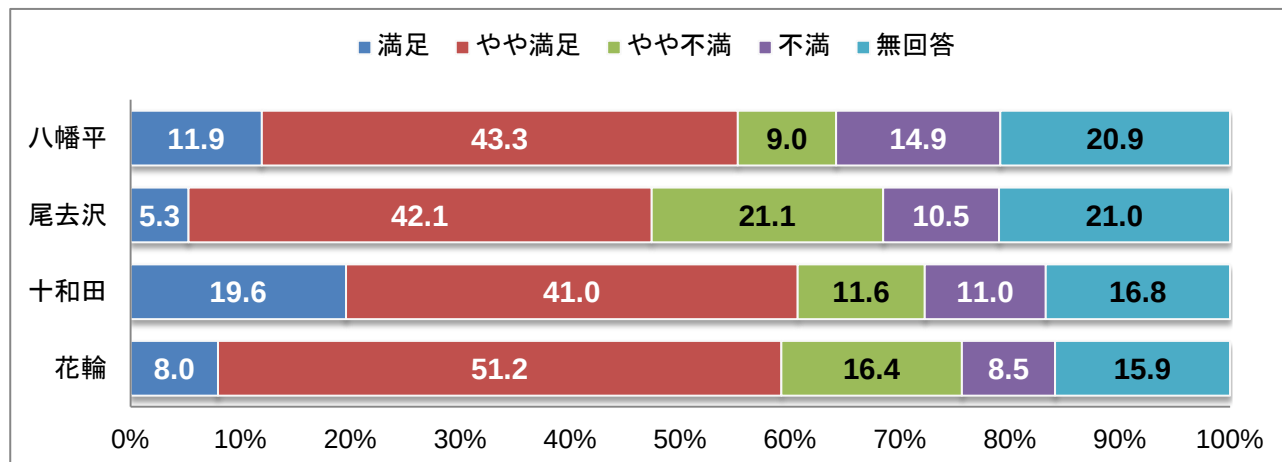
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

「30 歳未満」、「30 代」の満足度が 58%と最も高くなっています。一方で、同年代の不満足度も高い結果となり、徒歩でいける身近な場所に公園がない、また、公園があっても遊具が少ないといった理由があげられています。

「やや満足」の割合が各年代とも比較的に高く、公園整備については概ね満足が得られているように見えますが、「草木の手入れ、トイレの汚れ」、「遊具の老朽化」、「花が少ない」など管理面に対する声も大変多いと受け止めています。

また、無回答が多いのは、「利用しないのでわからない」、「どこにあるのか分からない」という理由によるものと推測され、誰でも気軽に利用できるような、景観に配慮し、楽しむことができる公園整備の方策も必要と考えます。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

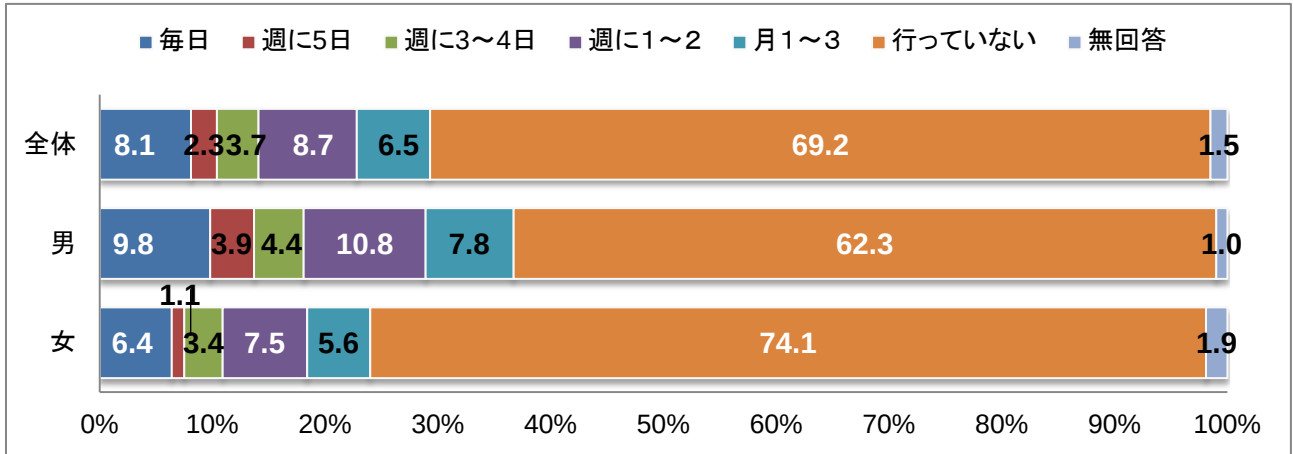
成果指標	基準値	実績値 (H24)	目標値 (H27)
公園の環境に満足している市民の割合	56.7%	58.0%	71.0%

5 スポーツの実施状況について

設問⑥ あなたは、普段どれくらい運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操を含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動時間はどのくらいですか。

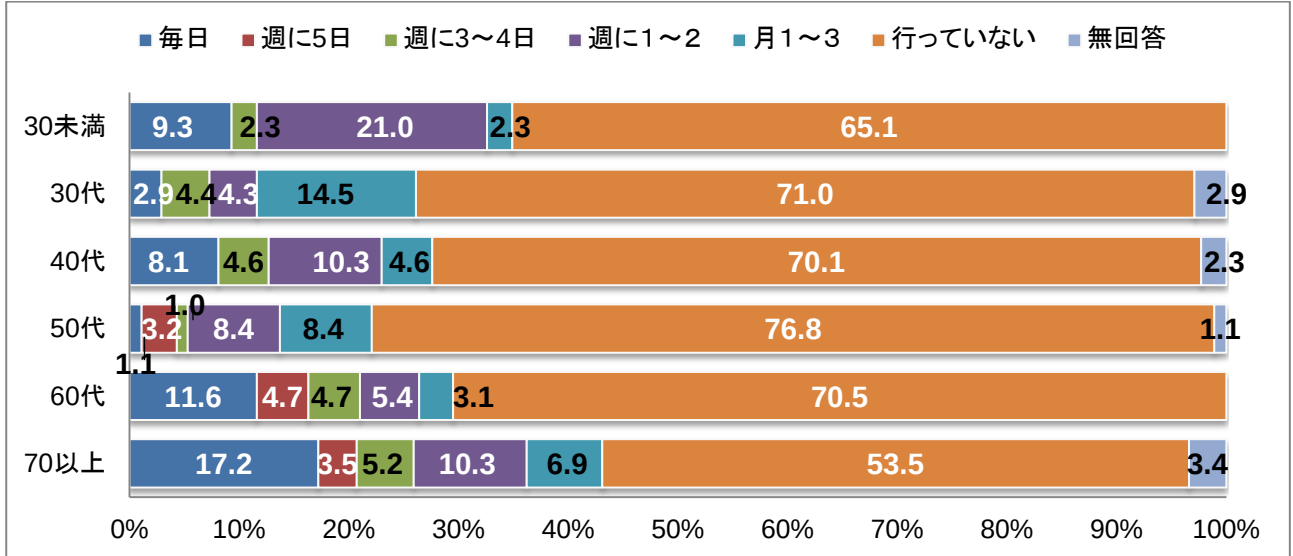
①全体／男女別

〔単位：％〕



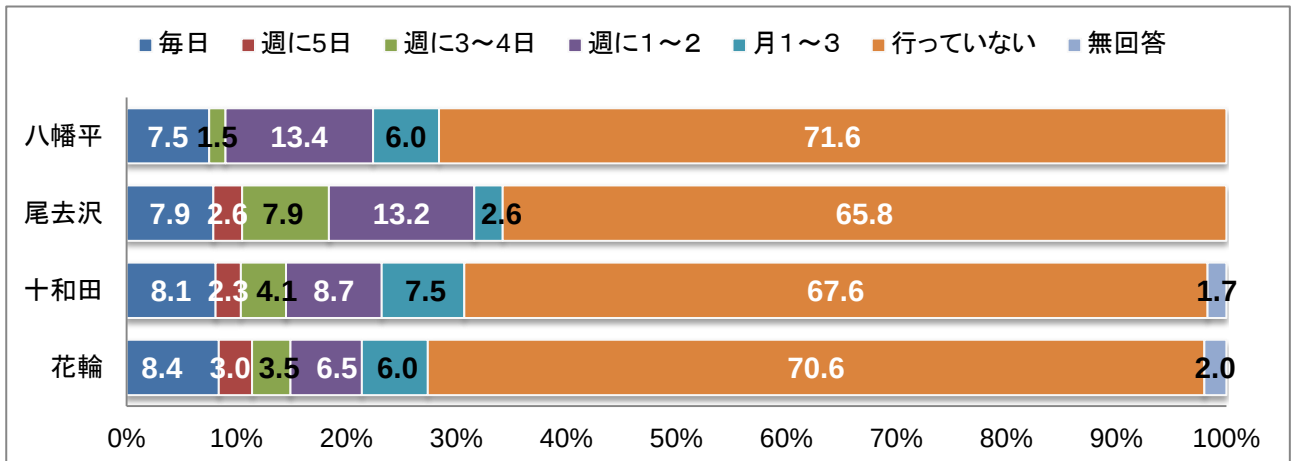
②年齢別

〔単位：％〕

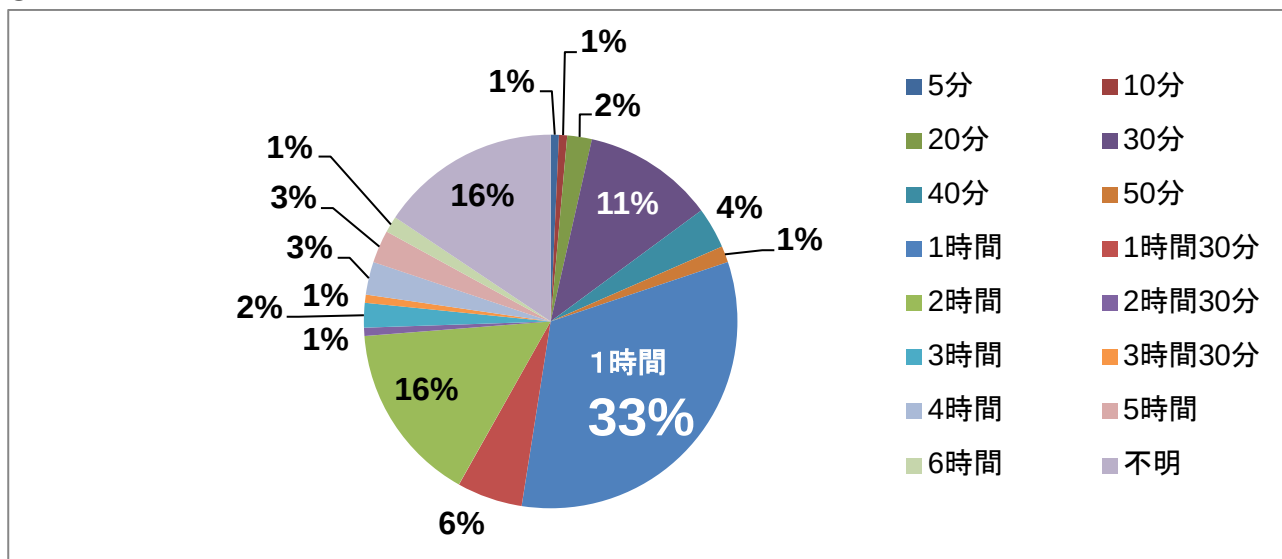


③地区別

〔単位：％〕



④ 1回あたりの運動時間



⑤分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、今年度22.8%と昨年より8.1ポイント低下しました。

1回当たりの運動時間は1時間程度が約3割と最も多くなっています。内容としてはウォーキングが19.9%で最も多かったほか、散歩・ストレッチ・ラジオ体操等、道具を使用せず手軽にできるものが全体の53.9%に上りました。

今後のスポーツ推進の方向性として、市広報紙やイベントを活用し、日頃の運動不足、体力の衰えは運動やスポーツで補い、それとともに休養や食事に気を配ることで健康づくりに相乗的な効果があるとの意識の醸成を図る必要があります。

また、気軽に取り組める日常的なスポーツとして、運動を意識した散歩やウォーキングなどの軽運動、さらには、誰もが行ったことのあるラジオ体操を習慣化することが健康に過ごせる体づくりにつながるとの情報提供を行う必要もあります。

地域スポーツ活動の推進による新しい公共の形成として、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現させるため、スポーツ推進委員の活用及び総合型地域スポーツクラブの役割も重要であり、育成を支援していかなければなりません。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

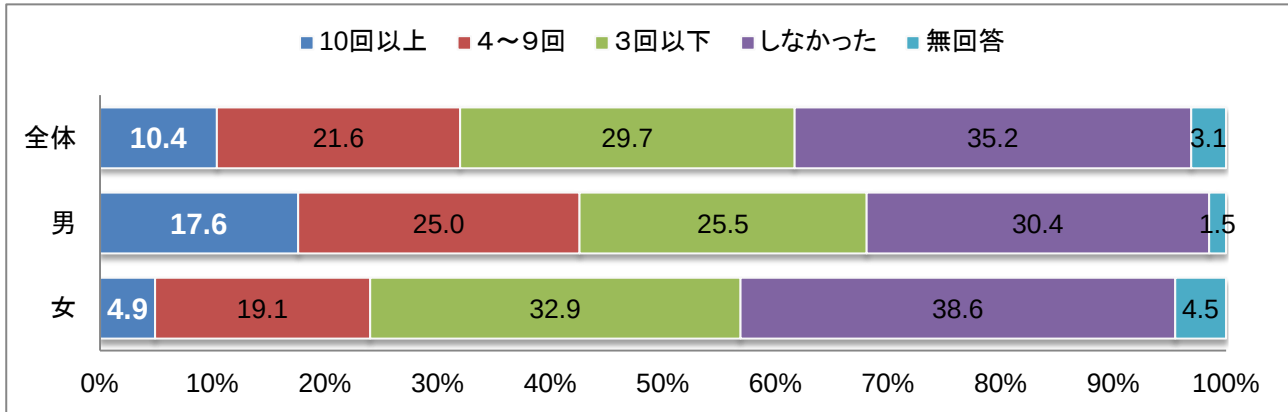
成果指標	基準値	実績値 (H24)	目標値 (H27)
週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	34.6%	22.8%	47.0%

6 地域コミュニティについて

問⑦ あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動など）にどの程度参加しましたか。

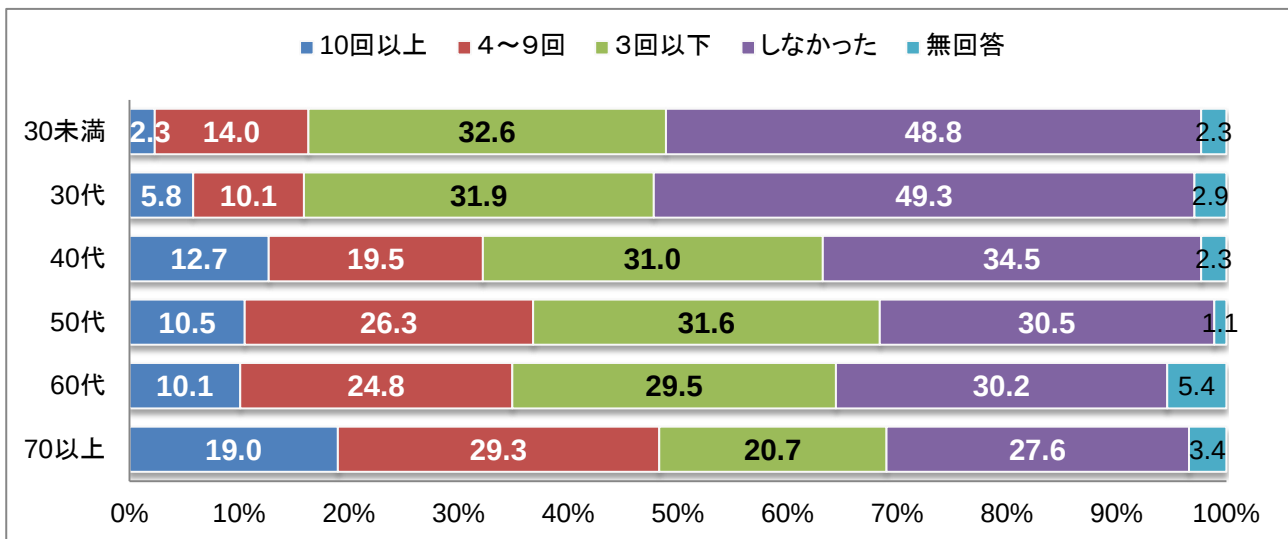
①全体／男女別

〔単位：％〕



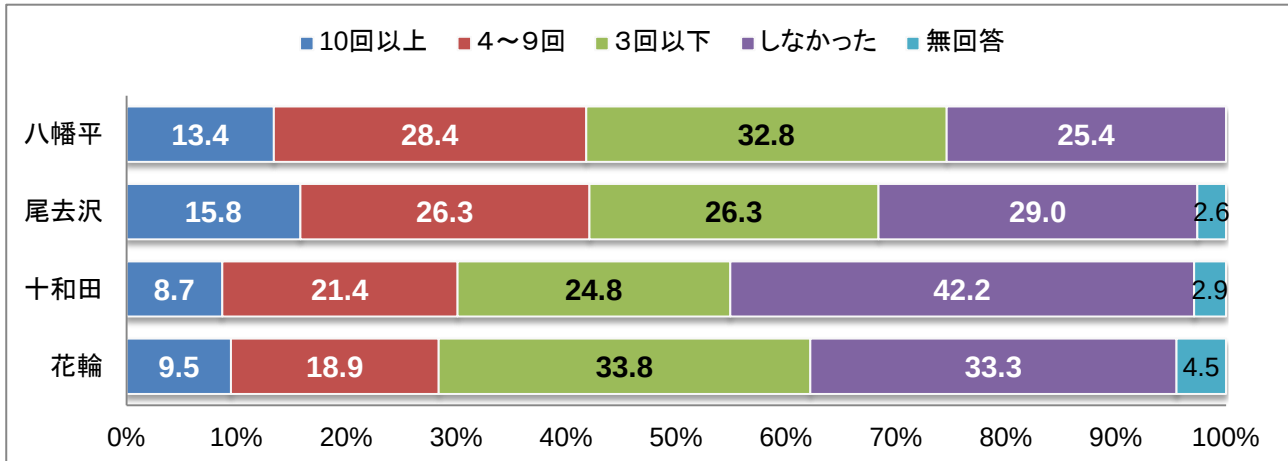
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

個人が昨年１年間に社会活動や地域活動へ参加した割合は、61.7%となりました。昨年度の63.3%から1.6ポイント低下しています。

男女別でみると、昨年同様、男性の参加しなかった割合30.4%に比べ、女性は38.6%と8.2ポイント高くなっています。

また、年代別でみると30歳未満と30代の参加しなかった割合がそれぞれ48.8%、49.3%と高い割合を示しており、若年層になるほど参加率が低い傾向は昨年と変わらず、主に50代以上の方により地域活動が支えられていることが分かります。

地域別でみると、八幡平地域の参加しなかった割合が25.4%と平均(35.2%)を大きく下回っており、参加回数についても各平均を上回っていることから、地域コミュニティが盛んな地域であることがうかがえます。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

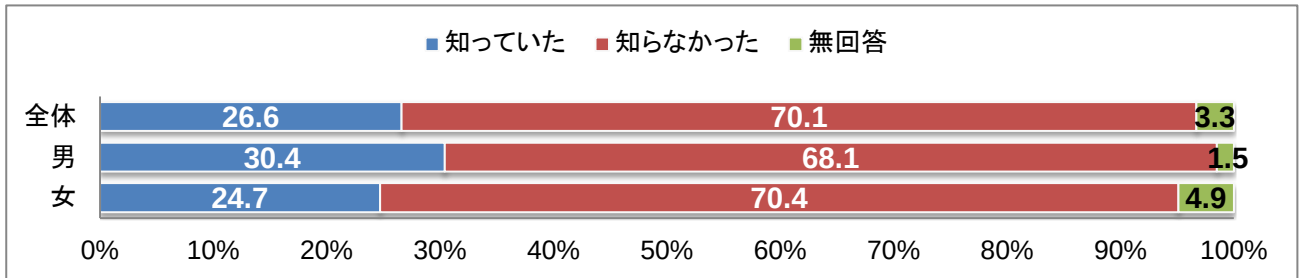
成果指標	基準値	実績値 (H24)	目標値 (H27)
社会活動や地域活動(ボランティア活動・自治会活動など)に参加した市民の割合	46.8%	61.7%	55.0%

7 男女共同参画の状況について

問⑧-1 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていましたか。

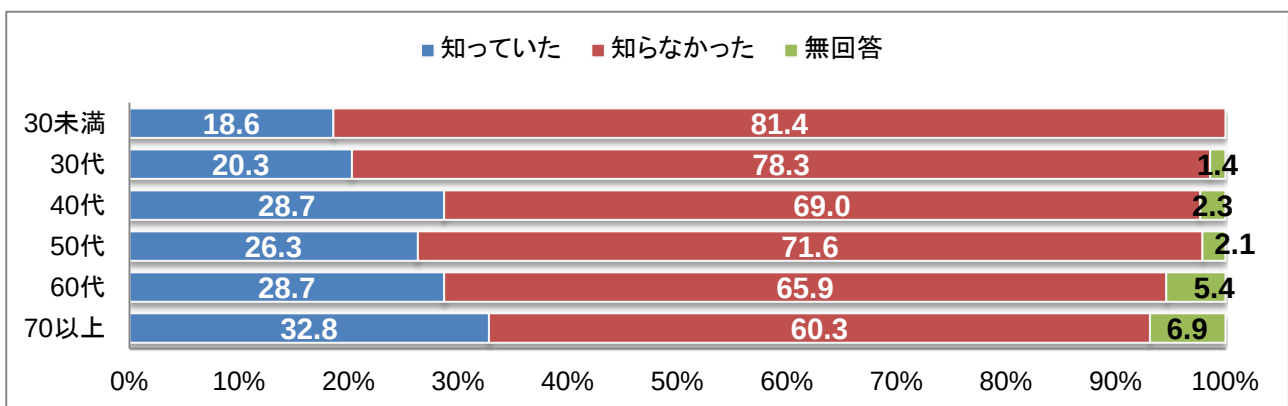
①全体／男女別

〔単位：％〕



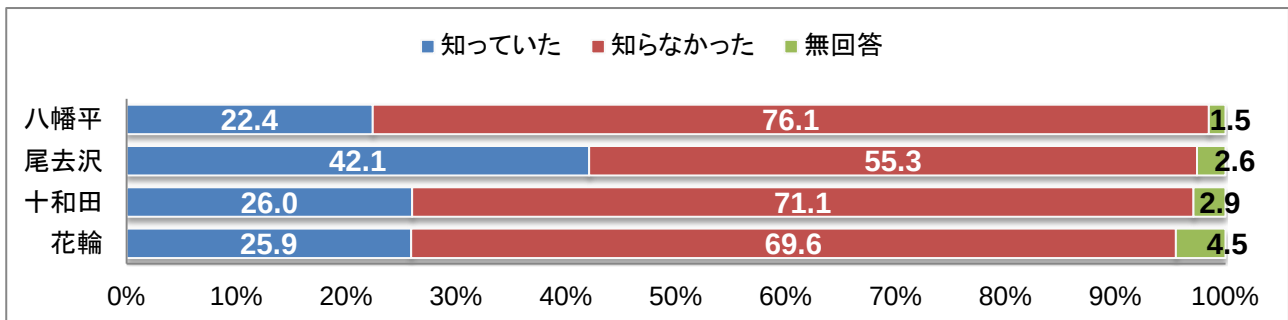
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

「ワーク・ライフ・バランス」を知っている人の割合は、26.6%となりました。昨年度調査と比較して3.4ポイント上昇しており、認知度は広がってきています。

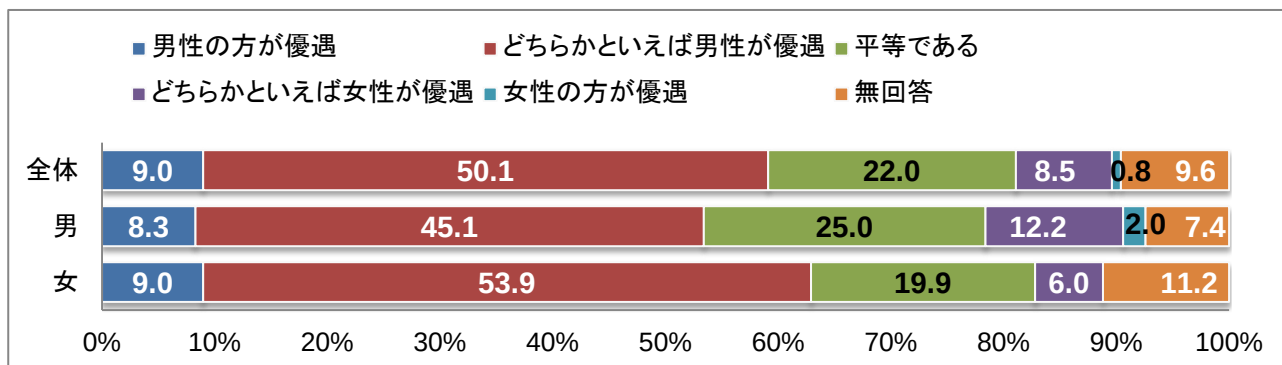
男女別でみると、女性の認知度が昨年度より5.5ポイント上昇しているものの、依然として男性に比べ5.7ポイント低い値でした。年代別でみると、30歳未満を除くすべての年代で認知度が20%を超えており、40代以上では30%前後の認知度となっていますが、30歳未満は18.6%と依然として低い値となっています。

全体の認知度を広げることはもちろんですが、30代以下の若年層や女性を対象として認知度を広げる必要があります。

問⑧-2 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

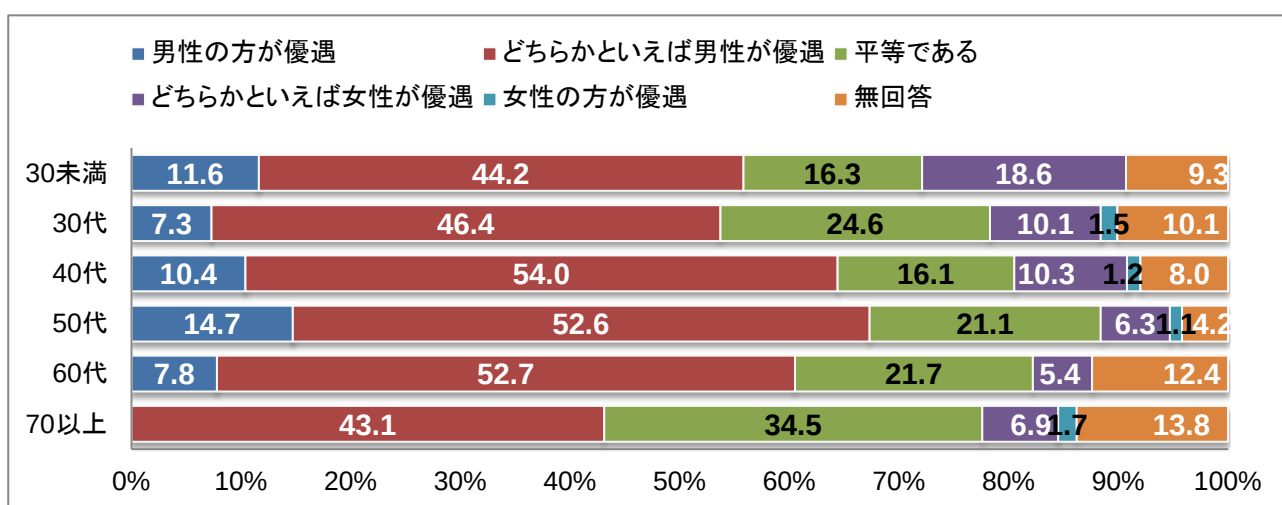
①全体／男女別

〔単位：％〕



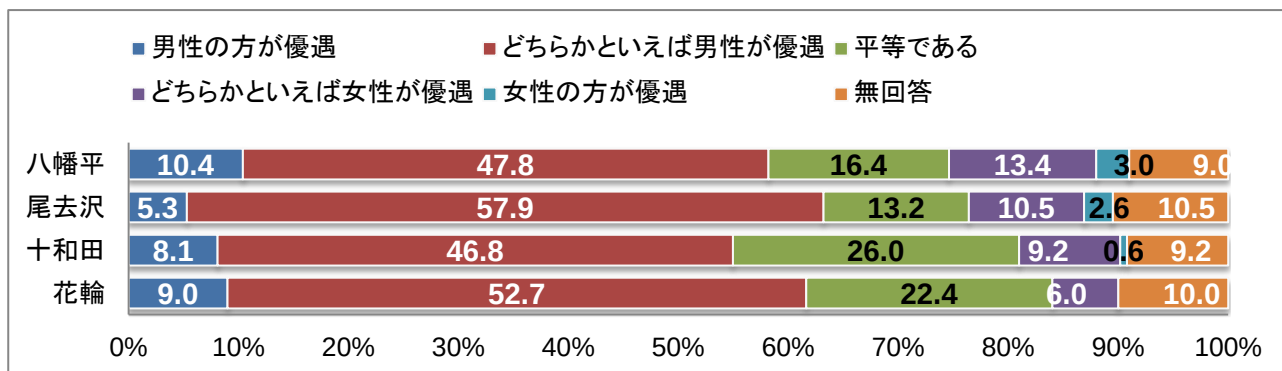
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

「男女の地位が平等である」と答えた人の割合は、22.0%となりました。昨年度の調査と比較し、1.6ポイントと若干上昇しておりますが、「男性が優遇されている」と答えた人は、「どちらかといえば男性が優遇されている」も含めると59.1%と依然として高い状況となっています。

年代別では、30歳未満の「平等である」と答えた割合が16.3%と昨年度の調査より4.9ポイント下回っており、若年層の意識啓発が必要です。

このように、社会全体では男女の地位が平等ではなく、男性が優遇されていると感じている実情を改善し、あらゆる分野で、性別にかかわらず個性・能力を発揮できる社会をつくっていきけるよう、情報や学習の機会を提供していく必要があります。

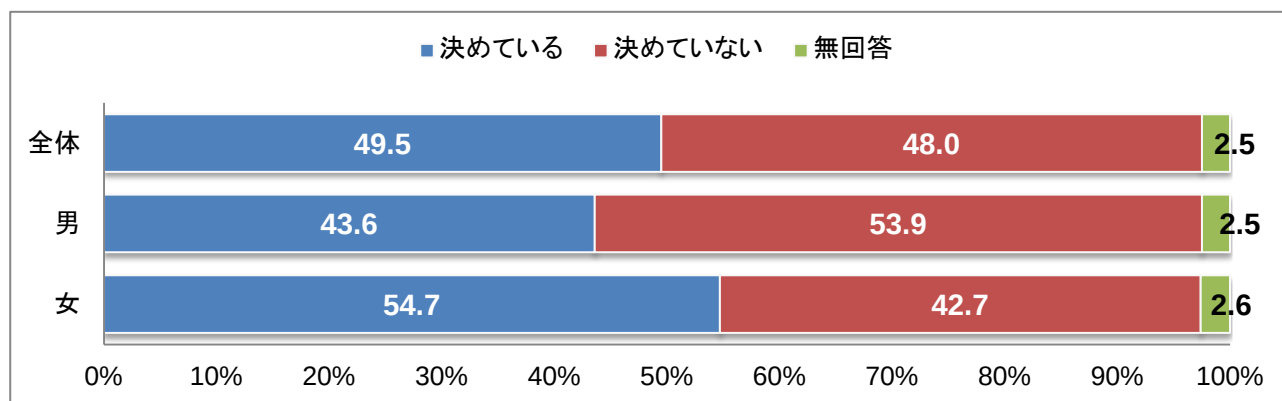
8 地域医療について

問⑨-1 「かかりつけ医」とは、日頃から患者の体質や病歴、健康状態を把握し、診療行為や健康への助言などを行う身近な医師のことをいいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医を除く）」を決めていますか。

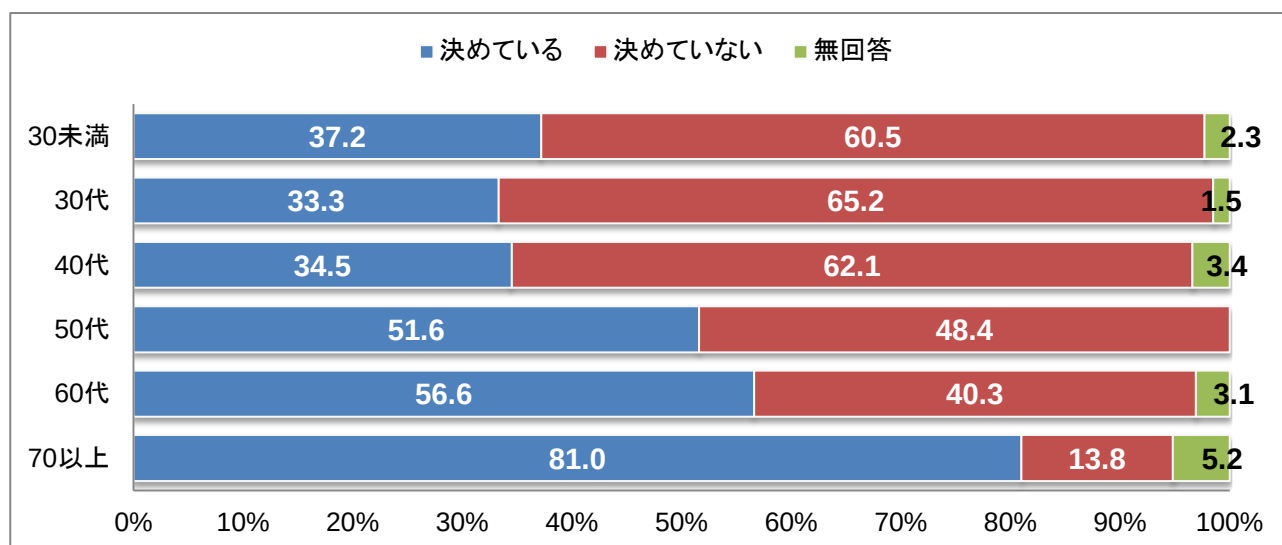
①全体／男女別

〔単位：％〕



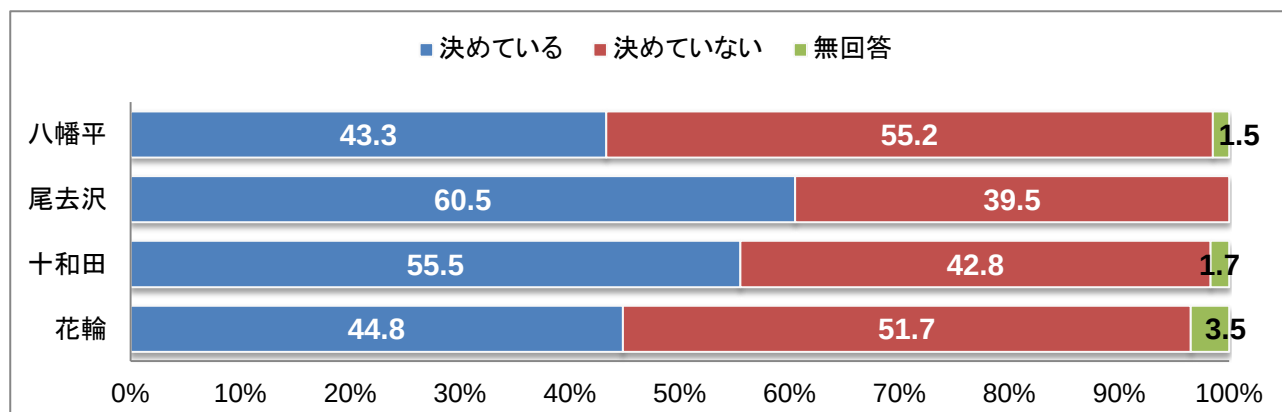
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

かかりつけ医を決めていると回答した方は 49.5%で、昨年比 1.7 ポイント減の微減となっています。

男女比で見ると、女性の方がかかりつけ医を決めている割合が 10%ほど高くなっています。

年代別では、40 代までは 35%程度と横ばいに推移していますが、50 代以降は半数を超え、70 代以上に至っては 80%を超えています。

地区別では、医療機関のない尾去沢地区において決めている割合が 60%と最も多くなっているほか、医療機関がある花輪地区と十和田地区では、10%程度の開きがあり、地区内に医療機関があっても差があることが分かりました。

全体を通じて、無回答の割合が多いことから、かかりつけ医という定義の意識付けを行うことが必要であり、持つことのメリットを伝えていくことが求められます。

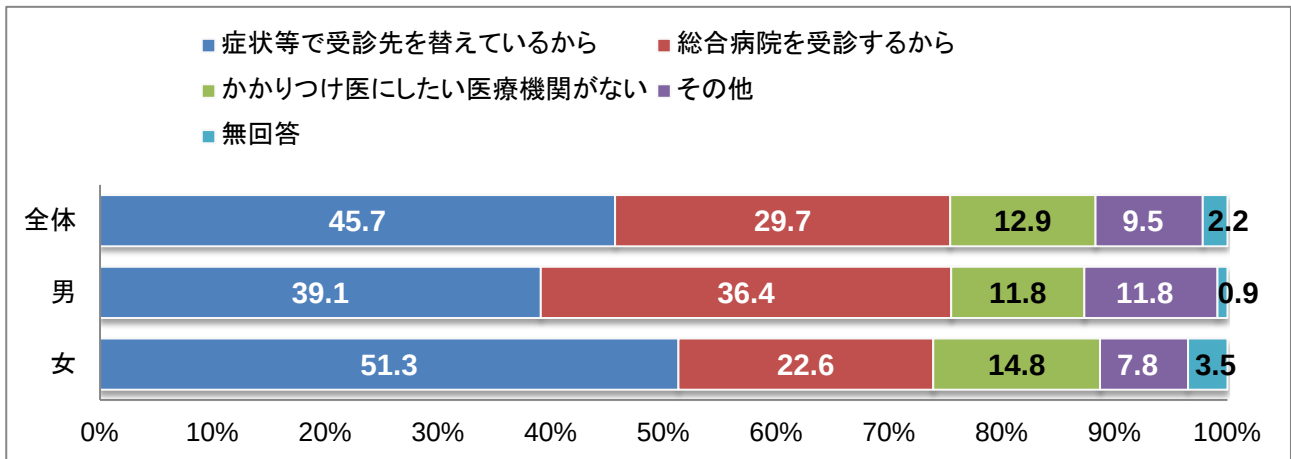
〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値	実績値 (H24)	目標値 (H27)
かかりつけ医を持っている市民の割合	64.1%	49.5%	65.0%

問⑨-2 問⑨-1で「2. 決めていない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。

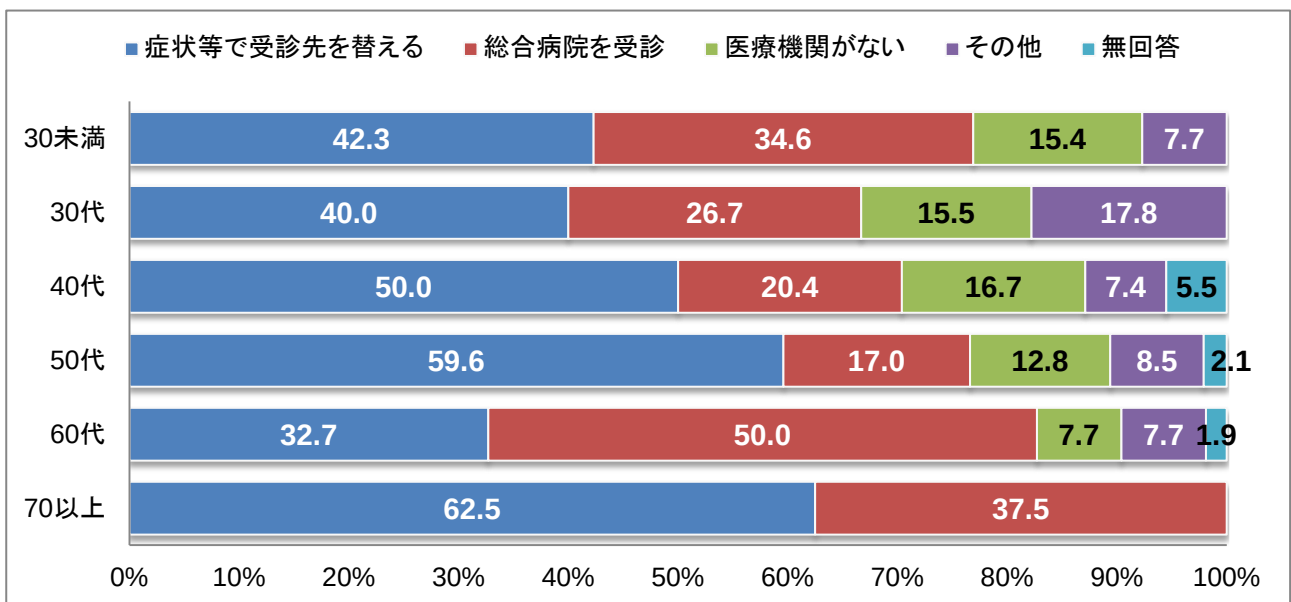
①全体／男女別

〔単位：％〕



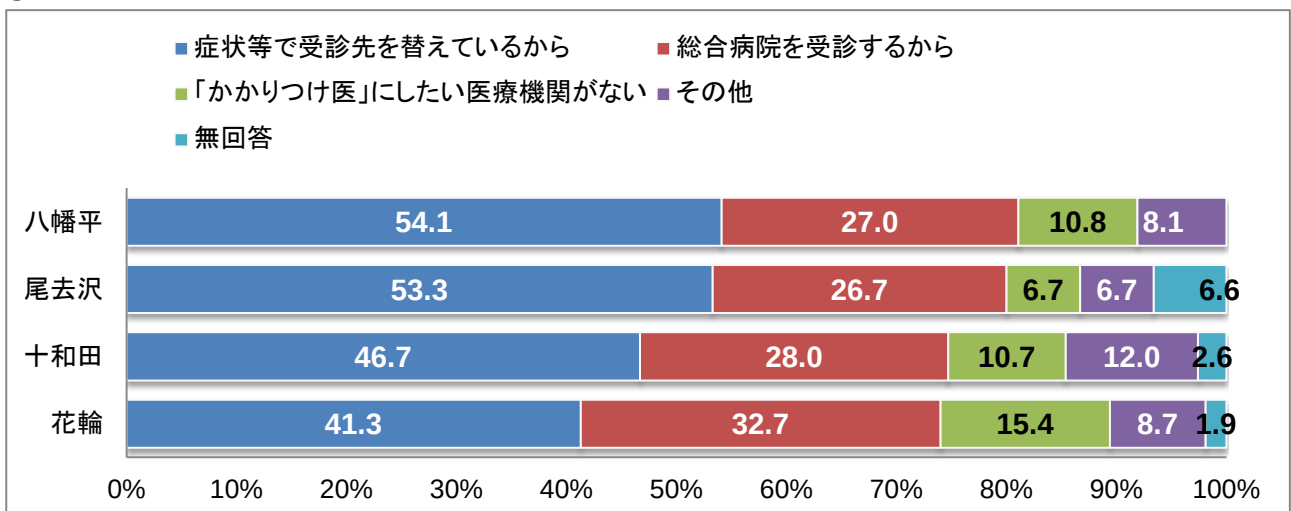
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

かかりつけ医を決めていない理由として、男女ともに症状により受診先を替えるという回答がある一方、総合病院を受診するという割合が高くなっています。ただし、男性ではそれほど差はないものの、女性は症状により受診先を替える割合が50%を超えています。

年代別で見ると、各年代で症状により受診先を変える方の割合が高い一方、60代では総合病院を受診する割合が高くなっています。また、30～50代までは、かかりつけ医にしたい医療機関がないとする回答が10%を超えていることから、受診そのものを市外に委ねている可能性が考えられます。

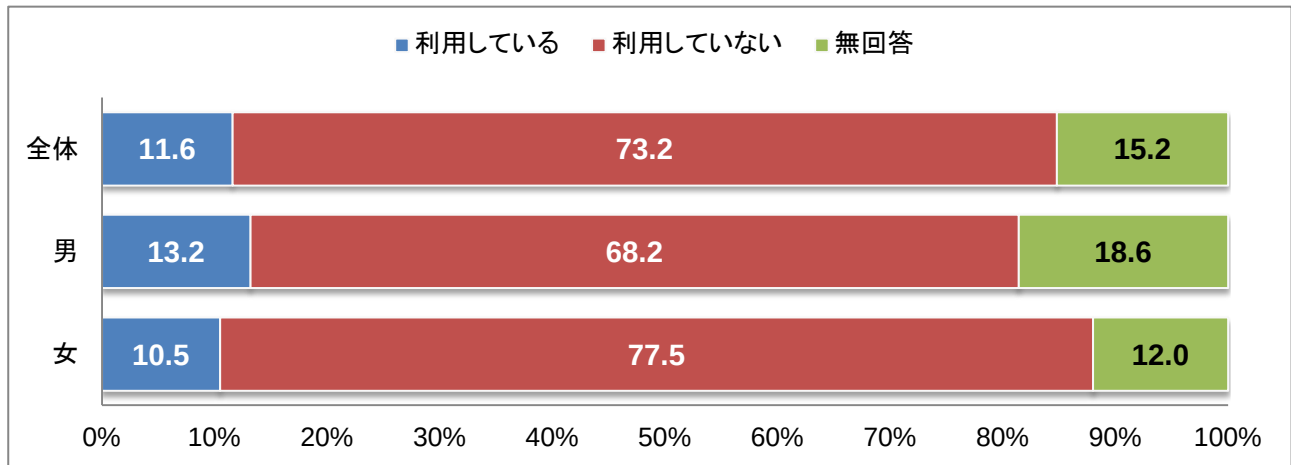
地区別で見ると、症状で替える、総合病院を受診する割合の順で推移していますが、医療機関の集中している花輪地区において、かかりつけ医にしたい医療機関がないという回答が一番多くなっています。

その他の内訳としては、医療機関を受診することが少ないため、かかりつけ医を持たないとする意見が多数ありました。

問⑨-3 あなたは、普段、在宅当番医を利用していますか。

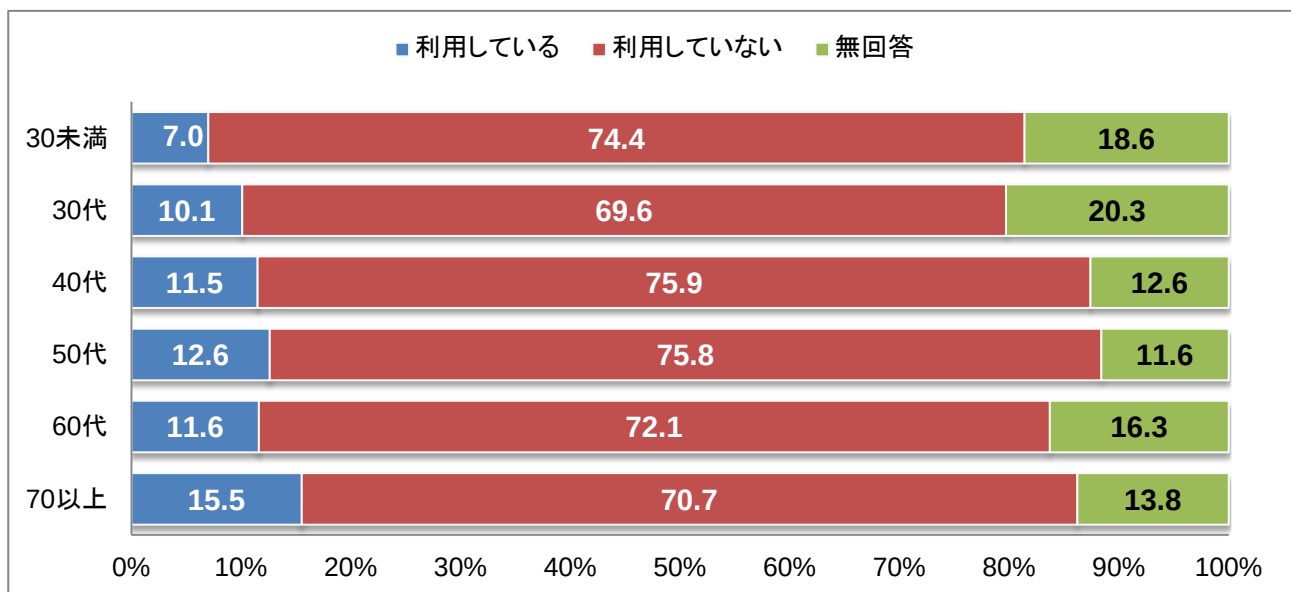
①全体／男女別

〔単位：％〕



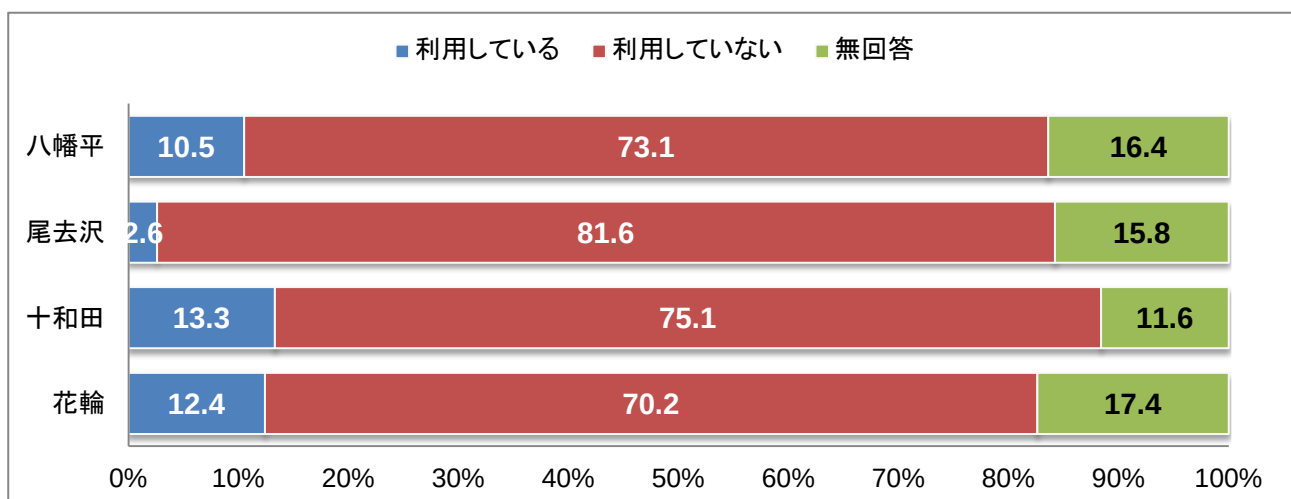
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

在宅当番医を利用していると回答した方は 11.6%で、昨年比 1.5 ポイント減の微減となっています。

男女比で見ると、男性が 13.2%で昨年比 3.5%ポイント増となりましたが、女性が 10.5%で昨年比 5.3 ポイント減となり、男女差が逆転しています。

年代別で見ると、総じて低い割合となっていますが、特に 70 代は 15.5%と昨年比 8.4 ポイント減と大きく減少しております。また、30 代未満は 7%と昨年比 4 ポイント増となっていますが、全体的に見た場合低く推移しています。

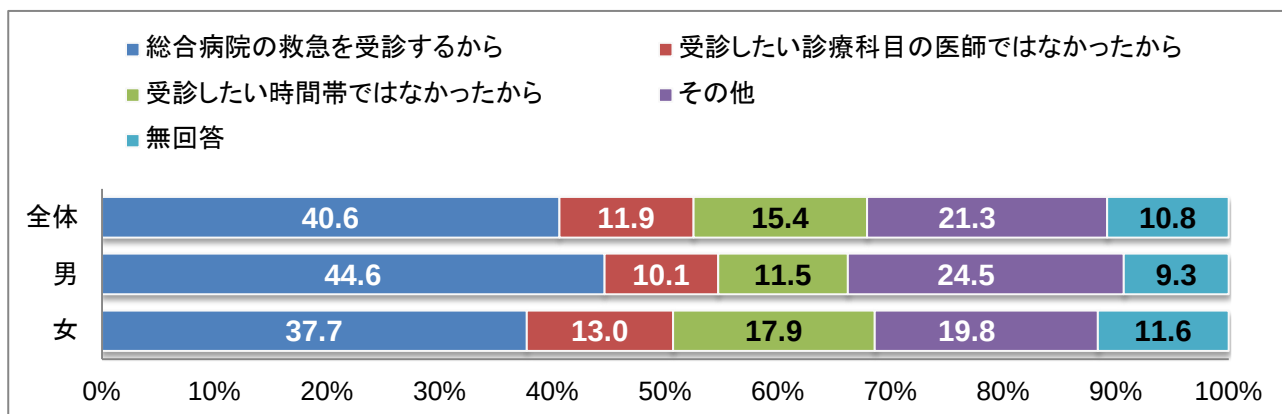
地区別で見ると、尾去沢地区が 2.6%と昨年比 7.0 ポイント減と大きく減少しています。

全体として減少傾向にあることから、今一度、制度の見直しをはかり、一人でも多くの人が利用しやすい環境を整える必要があります。

問⑨-4 問⑨-3で「2. 利用していない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。

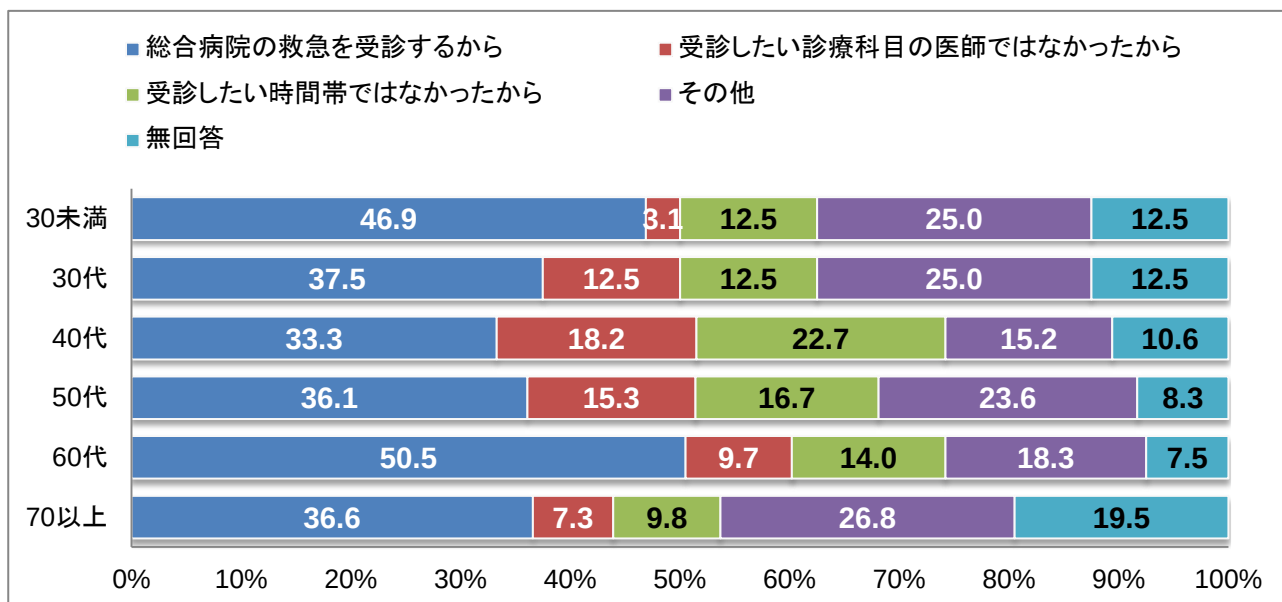
①全体／男女別

〔単位：％〕



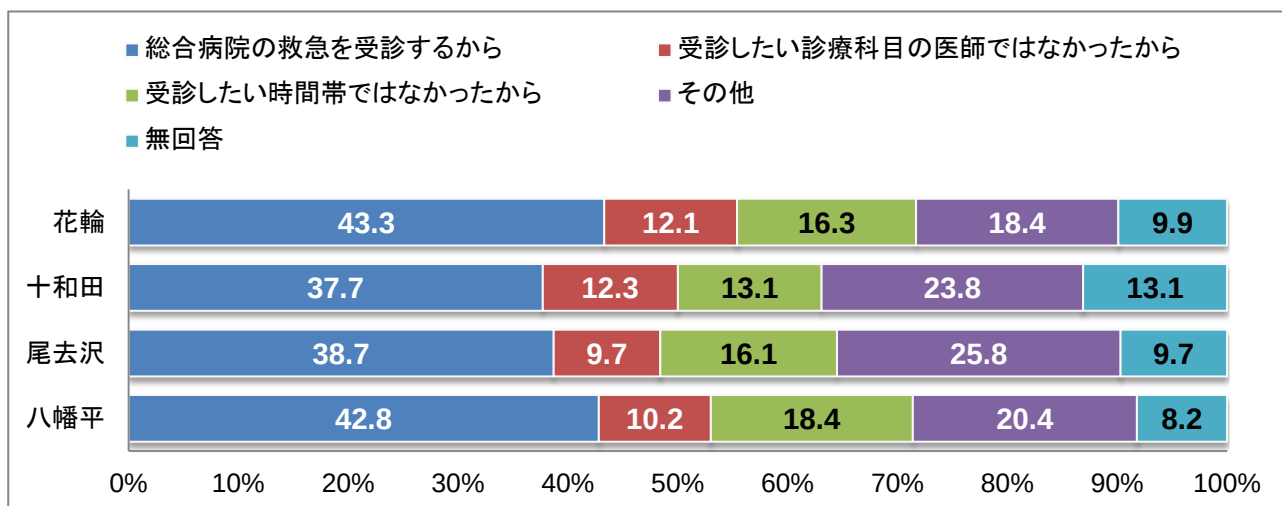
②年齢別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

在宅当番医を利用していないとした理由では、男女共に総合病院の救急を受診する割合が高くなっており、また、次いで受診したい時間帯や診療科目の医師ではなかったとする割合が高くなっています。

このほか、その他及び無回答の割合が高くなっておりますが、その理由として、男性は病気にならないために利用しない、女性は男性同様の意見のほか、定期的な通院やかかりつけ医を受診するといった回答がありました。

年代別では、男女別同様、総合病院の受診が多くなっていますが、30～50代では診療科目の専門性や受診を希望する時間帯と合わないといった回答が多くなっています。

その他の意見としては、当番医の診療体制や対応に係るものが多くなっていることから、在宅当番医の意義を明確に伝えるとともに総合病院の適切な受診についても啓発していく必要があります。

また、医師不足により、全ての市民が満足できる受診環境ではないものの、現体制において最良の方法を見出すため、医師会及び厚生病院と協議を重ねながら一体となって施策を進めていく必要があります。

9 鹿角市が他のまちに誇れるものについて

設問⑩ あなたが普段「わがまち“鹿角市”が他のまちに誇れる」と感じているものを、順に3つまで挙げてください。

分類 \ 頻度	5 以上	10 以上	25 以上	50 以上
自然環境			国立公園 温泉	自然環境のよさ
スポーツ	スポーツ環境 スキーのまち		冬季のスポーツ施設 総合運動公園	
伝統文化	祭	大日堂舞楽	花輪ばやし	
産業	農畜産業・有機農業		北限の桃 その他農産物	
生活環境	各種福祉制度 交通の利便性 道路管理のよさ	災害の少なさ 事件事故の少なさ		
食文化	水 食べ物のおいしさ 山菜	きりたんぽ		
人間性 (関係性)	子供たちの素直さ 共助の精神	人の良さ		
歴史		ストーンサークル		
景観		美しい景観		
観光		観光資源が たくさんある		

①分析結果

集計は、アンケートの回答をその文意から分類及びキーワード化し、キーワードの頻度を計数する手法とし、全体の傾向を比較的良く表現できることから、最低頻度を「5以上」として集計しました。

その結果、本市が他のまちに誇れるものとして、前頁の表のとおり 28 のキーワードを抽出することができました。自然環境（緑・紅葉・四季・のどか・山・川・星空・寒さ・気候・空気など）の良さが最頻出のキーワード（98）で、続いて花輪ばやし（47）、温泉（43）、冬季のスポーツ施設（ジャンプ台・スキー場）（37）、国立公園（十和田湖・八幡平）（33）の順となりました。

災害の少なさ、スポーツ環境の良さ、北限の桃、人の良さなどのキーワードが特徴的です。

キーワードはさらに 10 の分類に区分しましたが、自然環境に関するものが最頻出（174）で、続いてスポーツに関するもの（79）、伝統文化（74）の順となりました。ただし、この分類は便宜上の区分であり、現実の構造はそれぞれのキーワードが関連しているものと考えられます。

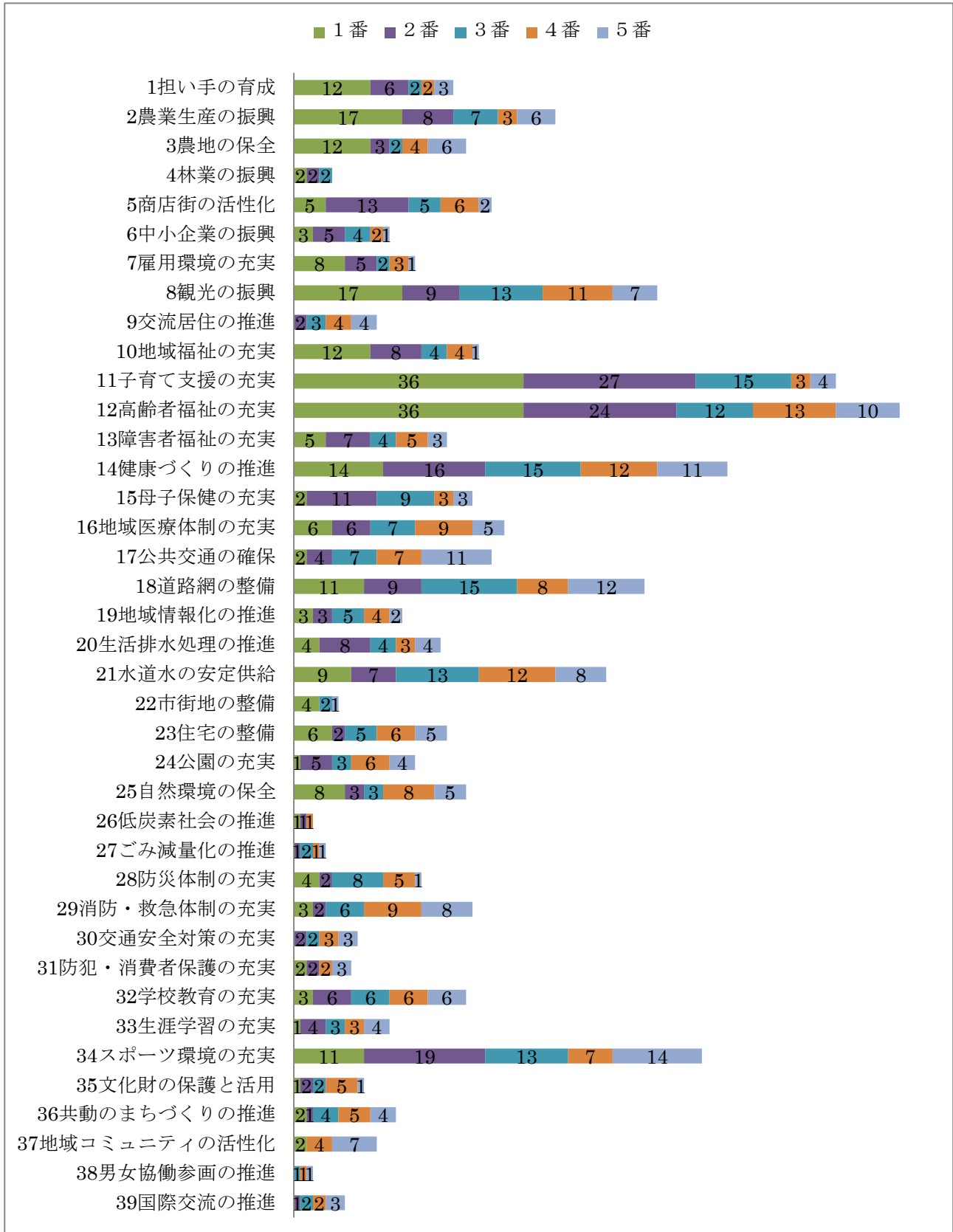
なお、この設問の回答率が、アンケート全体の回答者の約 53%と低率であることが認められます。（各世代の回答率：30 歳未満 56%、30 代 52%、40 代 59%、50 代 63%、60 代 46%、70 歳以上 43%）

10 市の施策について

設問⑪ 市が進めている取り組みの中で、効果が得られていると感じるものを下表の39項目から順に5つ選んでください。

①全体／男女別（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



No.	順位	施策	1番	2番	3番	4番	5番	計
12	1	高齢者福祉の充実	36	24	12	13	10	95
11	2	子育て支援の充実	36	27	15	3	4	85
14	3	健康づくりの推進	14	16	15	12	11	68
34	4	スポーツ環境の充実	11	19	13	7	14	64
8	5	観光の振興	17	9	13	11	7	57
18	6	道路網の整備	11	9	15	8	12	55
21	7	水道水の安定供給	9	7	13	12	8	49
2	8	農業生産の振興	17	8	7	3	6	41
16	9	地域医療体制の充実	6	6	7	9	5	33
5	10	商店街の活性化	5	13	5	6	2	31
17	11	公共交通の確保	2	4	7	7	11	31
10	12	地域福祉の充実	12	8	4	4	1	29
15	13	母子保健の充実	2	11	9	3	3	28
29	14	消防・救急体制の充実	3	2	6	9	8	28
3	15	農地の保全	12	3	2	4	6	27
25	16	自然環境の保全	8	3	3	8	5	27
32	17	学校教育の充実	3	6	6	6	6	27
1	18	担い手の育成	12	6	2	2	3	25
13	19	障害者福祉の充実	5	7	4	5	3	24
23	20	住宅の整備	6	2	5	6	5	24
20	21	生活排水処理の推進	4	8	4	3	4	23
28	22	防災体制の充実	4	2	8	5	1	20
7	23	雇用環境の充実	8	5	2	3	1	19
24	24	公園の充実	1	5	3	6	4	19
19	25	地域情報化の推進	3	3	5	4	2	17
36	26	共働きのまちづくりの推進	2	1	4	5	4	16
6	27	中小企業の振興	3	5	4	2	1	15
33	28	生涯学習の充実	1	4	3	3	4	15
9	29	交流居住の推進	0	2	3	4	4	13
37	30	地域コミュニティの活性化	2	0	0	4	7	13
35	31	文化財の保護と活用	1	2	2	5	1	11
30	32	交通安全対策の充実	0	2	2	3	3	10
31	33	防犯・消費者保護の充実	2	2	0	2	3	9
39	34	国際交流の推進	0	1	2	2	3	8
22	35	市街地の整備	4	0	2	0	1	7
4	36	林業の振興	2	2	2	0	0	6
27	37	ごみ減量化の推進	0	1	2	1	1	5
26	38	低炭素社会の推進	1	1	0	1	0	3
38	39	男女協働参画の推進	0	0	1	1	1	3

②分析結果

効果が得られていると感じる施策として、最も多くの人に選択されたのは「12. 高齢者福祉の充実」で 95 名の回答者が選択しています。ショートステイなど介護・福祉施設が充実したことのほか、高齢者に優しいまちづくりを評価する意見がありました。

2 番目に多く選択されたのは、「2. 子育て支援の充実」で 85 名の回答者が選択しました。保育園の待機児童がいないこと、子育て支援センターやファミリーサポートセンターの充実、マル福の拡充などが評価されています。

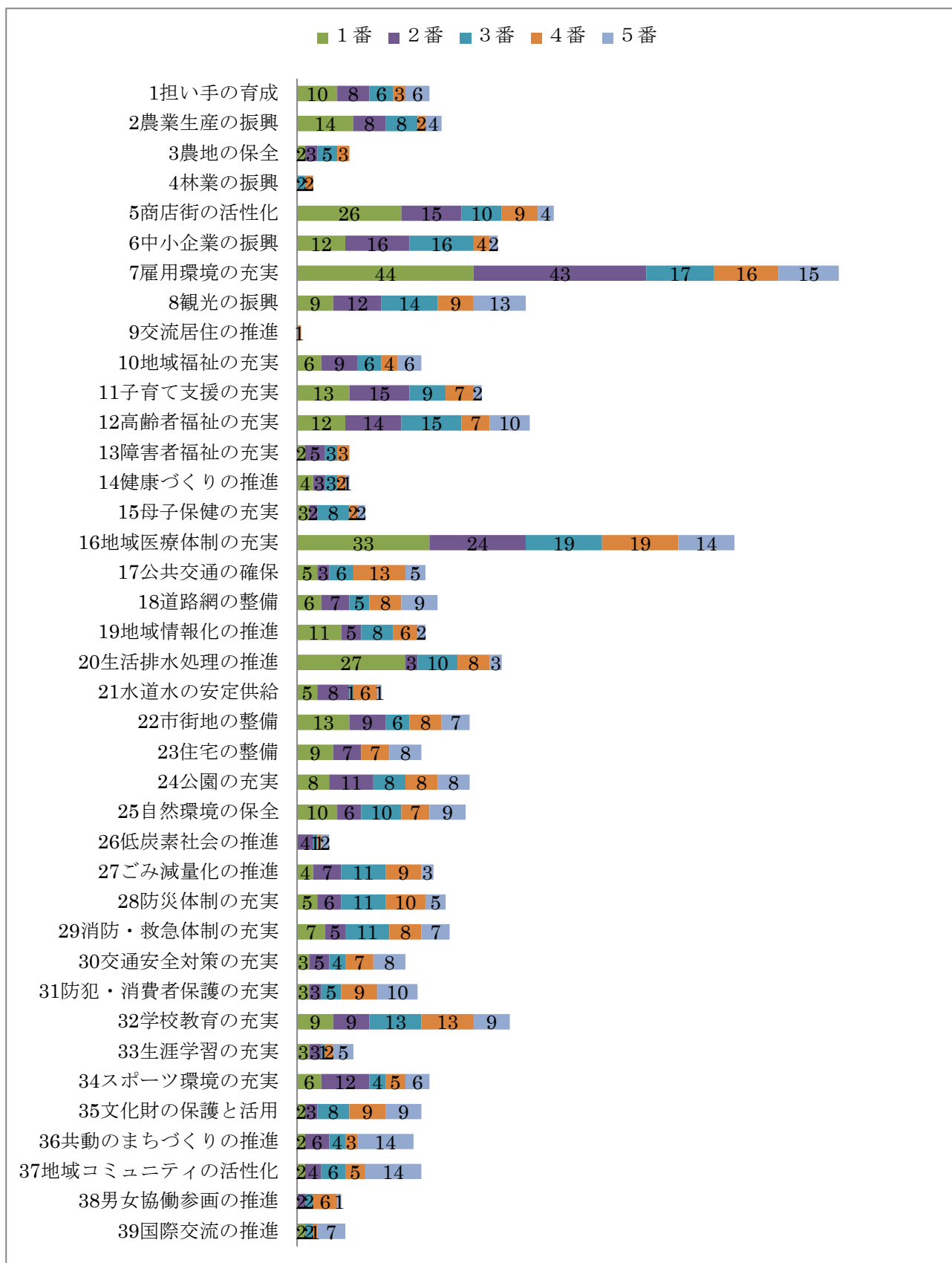
続いて「14. 健康づくりの推進」は、健康づくりに向けた各種講座や出前講座などの P R 活動が評価されており、「34. スポーツ環境の充実」は、国体などの全国規模の大会誘致や花輪スキー場をはじめとする施設整備が評価されています。

「8. 観光の振興」は、毎週のようにイベントが行われていることや様々な観光メニューを創設していること、ポスター等の P R 活動が評価されています。

設問⑫ 市が進めている取り組みの中で、もっと「力」を入れて欲しいと感じるものを下表の39項目から順に**5つ**選んでください。

①全体／男女別（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



No.	順位	施策	1番	2番	3番	4番	5番	計
7	1	雇用環境の充実	44	43	17	16	15	135
16	2	地域医療体制の充実	33	24	19	19	14	109
5	3	商店街の活性化	26	15	10	9	4	64
12	4	高齢者福祉の充実	12	14	15	7	10	58
8	5	観光の振興	9	12	14	9	13	57
32	6	学校教育の充実	9	9	13	13	9	53
20	7	生活排水処理の推進	27	3	10	8	3	51
6	8	中小企業の振興	12	16	16	4	2	50
11	9	子育て支援の充実	13	15	9	7	2	46
22	10	市街地の整備	13	9	6	8	7	43
24	11	公園の充実	8	11	8	8	8	43
25	12	自然環境の保全	10	6	10	7	9	42
29	13	消防・救急体制の充実	7	5	11	8	7	38
28	14	防災体制の充実	5	6	11	10	5	37
2	15	農業生産の振興	14	8	8	2	4	36
18	16	道路網の整備	6	7	5	8	9	35
27	17	ごみ減量化の推進	4	7	11	9	3	34
1	18	担い手の育成	10	8	6	3	6	33
34	19	スポーツ環境の充実	6	12	4	5	6	33
19	20	地域情報化の推進	11	5	8	6	2	32
17	21	公共交通の確保	5	3	6	13	5	32
10	22	地域福祉の充実	6	9	6	4	6	31
23	23	住宅の整備	9	7	0	7	8	31
37	24	地域コミュニティの活性化	2	4	6	5	14	31
35	25	文化財の保護と活用	2	3	8	9	9	31
31	26	防犯・消費者保護の充実	3	3	5	9	10	30
36	27	共働きのまちづくりの推進	2	6	4	3	14	29
30	28	交通安全対策の充実	3	5	4	7	8	27
21	29	水道水の安定供給	5	8	1	6	1	21
15	30	母子保健の充実	3	2	8	2	2	17
33	31	生涯学習の充実	3	3	1	2	5	14
14	32	健康づくりの推進	4	3	3	2	1	13
3	33	農地の保全	2	3	5	3	0	13
13	34	障害者福祉の充実	2	5	3	3	0	13
39	35	国際交流の推進	2	0	2	1	7	12
38	36	男女協働参画の推進	0	2	2	6	1	11
26	37	低炭素社会の推進	0	4	1	1	2	8
4	38	林業の振興	0	0	2	2	0	4
9	39	交流居住の推進	0	0	0	1	0	1

②分析結果

もっと力を入れて欲しいと感じる施策として、最も多くの人を選択されたのは「7. 雇用環境の充実」で135名の回答者が選択しており、働く場が無く若者（子ども）が鹿角から出ていかなければならないといった意見が大半を占めています。

続いて、「16. 地域医療体制の充実」は109名の回答者が選択しています。医師不足のほか救急医療体制の確立を求める意見が多くありました。

「5. 商店街の活性化」は、商店街の活気や人通りが少ないなど賑わいの創出を求める意見のほか、商店街に魅力が無く市外で買い物をするといった意見がありました。

「12. 高齢者福祉の充実」は、施設の充実は評価されたものの、一方で介護保険料や施設利用料への不満が見られるほか、まだ施設が足りないといった意見もありました。

「8. 観光の振興」は、PR不足を指摘する意見のほか、市の活性化のため取り組みを強化して欲しいといった要望が寄せられています。

11 自由意見

設問⑬において記述のあった自由意見は、回答者総数 481 名のうち 20.2%にあたる 97 名の方から 119 件の意見や感想などをいただきました。

自由意見については施策別に整理し（70 件）、それ以外を①政策に関すること（18 件）、②広報・広聴に関すること（7 件）、③職員に関すること（14 件）、④その他（10 件）に分類し下表に掲載しています。

1-1-2 農業生産の振興

そばの里の宣伝をもっと広めたほうがいいと思う。

鹿角市に農業以外の売り物があるのか？農業でサラリーマン年収と同じ位の年間 300 万の収入があれば農業従事者が増えるかもしれない。冬の休耕田畑の活用も必要と思う。

1-2-1 商店街の活性化

商店街の活性化というのは花輪地区だけのものなのか。その他と十和田地区はどうなるのか。

花輪の街って、名前のとおり花の街ですよ。何か花の少ないあまりきれいな街とは言えないと思う。ゴミが結構多い。

ハミングロードを夜に歩いてる人はあまりいないので、電飾はいらないと思う。

1-2-2 中小企業の振興

鹿角特産品の都会への紹介（アピール）をもっと充実してほしい。

1-2-3 雇用環境の充実

300 人の雇用は達成されたのでしょうか？

若者の働く場所、企業誘致をぜひ進めてほしい。

1-3-1 観光の振興

大館に勤めていると鹿角の話題が大変少ない。これは大館にも言えることだが、もっと広域で様々なことに対応できればよいのと思う。（観光など）

鹿角はとてもいい町で観光客も増えていますが物足りないようです。もっと、看板やパンフレットで紹介して欲しい。パワースポット、占い、恋愛に関係するものは若い子はどこまでも出掛ける元気があるので、おもしろおかしく興味を引いて欲しい。鹿角の美肌というグッズを用意して、石鮫や米ぬかや玉川の石などの 500 円ワンコイングッズに飛び付くのではないのでしょうか？きもかわいいものも大好きだと思います。中途半端になるならいっそやめて、田舎は田舎らしく、自然を大事にすることを考えた方がいいとも思います。

八幡平で、玉川温泉、クマ牧場など問題があったが、観光のためにも早く信頼を復興して欲しい。

祭り等で通行止めにする時は早めに看板等で表示して欲しい。其の先の関係ない住民がいつも迷惑しています。「この先通行止めになっています」などの看板を早めに置いてくれると大きく迂回することなく行けるのですが、通行止めのところに立って旗降りをし、はじめて行けないことがわかり、交差点の中なのでとても危険です。（舟場から尾去沢方面です）

観光客が駅を降りても見学できる場所がしっかりしているとよい。都会のようにバスツアーがあるとよい。ゴールデンウィークや夏のお盆、まつり、花輪ねぶた、花輪ばやしや紅葉の期間に計画してみたらよい

と思う。

観光名所への道案内（看板）をもっとわかりやすくしてほしいと思います。イベントなど情報をもっと宣伝してほしい。あんたらあの女性トイレですが洋式を多くしてほしい。

2-1-2 子育て支援の充実

保育園などは余りお金も使わなかったが、中学校、高校は沢山お金がかかります。クラブなどに入ると、1年間で20万以上も使います。そのために兄弟がいると、予防接種や歯科にも連れて行けません、少し見直してもよいと思います。

子が病気がちなため、妻働きに出れず、夫一人の給料で生活している。若者は賃金が安く、出費が多い時期（出産、子育て）の20代、30代に支援を行ってほしい。少子化対策になると思います。

まわりを見ると、離婚しているはずが、夫婦、子供と住み、生活保護、母子手当などで生活している方たちが何組もいます。働かず、遊び、いい車を使い回している姿を見ると、市役所は何をしているのか、とても不満です。教育費、子育てにお金がかかるとてもかかるとにも真面目に働き税金を納めているのが、ばからしくなります。社会問題でも生活保護が注目されていますが、鹿角市でも偽装離婚が目につくほど増えているのを知っているのでしょうか。

冬期、子供達が集まって遊べる無料のプレイルームがあればいい。

認定保育園が増えているのはいいですが、疑問があります。本来ならば、3歳までは、母親が育てるのが一番です。おばあちゃんでもいいのです。そうすると、子供は自然と社会の礼儀など身につくものです。子供は親の背を見て育つと昔から言われている様に今の時代、モラルのない大人が増えているのはなぜでしょう。保育園が悪いと言っているのではないです。自宅でがんばってる子育てをしているお母さん、おばあちゃんにも保育手当てを支給できないのでしょうか。

母子家庭の不正受給者が多いと思います。お金がないからと離婚届を出してお金をもらい、夫婦のように行ったり来たり生活している人がいる！！真面目に働いている私たちは何？母子家庭はいろいろ無料でお金のもらいすぎでは！と思います。

2-1-3 高齢者福祉の充実

病気になった低所得者の高齢者が、退院後一人暮らしが不可能になった場合に入所できるような施設が不足しているように思う。

鹿角市の人口が減る一方で更に老人福祉の環境整備ばかりが目につく。よい事ではあるが、若い人たちには魅力がなく、若者をどんどん外に出してしまっている状況。

健康で寝たきりにならないよう、最低限、トイレ、食事を自分でできるようにしたい。在宅介護を基本として、デイサービス、ショート等の組合せで、家族に負担をあまりかけないように。健康講座などをもっと皆に、地域に浸透させ、少人数の場を設けてはどうか。例えば各地の婦人会、老人クラブ、自治会等に。

鹿角は老人社会なので、日本一の老人の街にするのもいいのでは。全国から老人を集めて高齢者の施設を充実させ、そこで働く若者に仕事を提供すればよい。

100歳のお祝い金は必要ないと思います。その税金があるのなら将来のある子供達の為に使ってください。

2-1-4 障害者福祉の充実

車椅子で日中ショッピング、公園遊び可能な街づくり、障害者にやさしい街づくり、たとえば市内定期市日等車椅子で自由に買い物ができるような市日につくってほしい。

2-2-1 健康づくりの推進

秋田県はガンが多い県であると言われている。また人口もどんどん減っていると聞いている。人間の命、健康が一番大切に考えていかなければならないと思う。

ガン検診を受診するのに集落にも来て頂きたい。バス利用だと時間帯が無理な時もあります。

2-2-3 地域医療体制の充実

地域医療の体制の充実にもっと力を入れて欲しい。小児科の病院、耳鼻科の病院が花輪町にほしい。高齢者に力をいれるのではなく、もっと子供達がこれから生活して行き易いように子供達の方に力を入れてもらいたい。

医療、全体的に質向上を。外科、形成外科も時間外でもすぐに対応して欲しい。小児も手術できる体制を整えて欲しい。セカンド・オピニオンのできる体制を。疑問を感じたら他の病院でもきちんと診てもらいたい。地域医療に対して不満。小児科が頼りなさすぎる。救急の場合県外に行くのが大変。医師の経験不足、設備不足。

不景気のため、子育てする上で負担が多く、子どもを産みたくてもためらう。マル福のハードルを下げて欲しい。

看護師、介護師が足りない。某病院でナースコールを押したが、誰ひとりきてくれなかった。ナースステーションには一人もいない。このような病院の体制に驚きを感じる。

一昨年度度の肺炎になり一週間程〇〇病院に入院しました。お蔭様で元気になり感謝しています。当番医制度も率直にうけいれることができます。

〇〇病院について、患者の意志に関係なく、外来窓口及び看護師の段階で、診察を拒否されること数回、受診科目が違って断られました。紹介状の有無を一番先に聞かれますが、無くても診てもらいたいと思いき行く人の方が多いと聞いております。今と昔ではそれ程、医者の方が偉いのか、患者を選ぶ権利が強いのか分かりませんが、情けないもんだなあと、いつもがっかりしています。

精神科の先生が常に居てくださるとありがたい。

3-1-1 公共交通の確保

バスのルートを変え小型バスにする。ボランティアを募り、なるべく人数と日時をまとめて移動してもらう。

3-1-2 道路網の整備

十二所花輪大湯線の大湯上の湯～上町～中町にかけての道路ですが、かなり狭いので片側歩道が欲しい。

坂の砂利が雨で流れて、車での上り下り大変です。舗装してほしい。

花輪町は良い形状をしています。国道を迂回させる町を造りましょう。

道路の補修の粗末さががっかりです。

農業道路が傷んで大型車が通るたびに家が揺れて困っています。

3-2-1 地域情報化の推進

市によるプロバイダ運営を（ネット環境 100%）。利用できる公共施設が分からない。（スーパーに案内を）

3-2-2 生活排水処理の推進

下水道事業がまだの地区に住んでいます。何年先か何十年先か、先が見えなくて困っています。

3-2-3 水道水の安定供給

上水道を通してほしい。

3-2-4 市街地の整備

現在の駅を中心とした人の利用は8割以上は通学の学生が主で、一般の人々の利用は病院が移動した事もあり、ほとんどありません。このような状況で駅を中心とした開発には、疑問を感じます。また、病院跡地の施設を建設する事によって、年間の維持費等、かなりの負担がでるのではないかと思います。このように駅前などを再開発するのであれば病院を移転すべきでなく、計画を進めるのならば、もっと商業的に採算を取れる施設の運営を考えていくべきではないかと思います。

3-2-5 住宅の整備

市営住宅の入居について、一人暮らしでも入れるようにしてほしい。

3-2-6 公園の充実

私は愛犬（2匹）と暮らしていますが、鹿角にもドックランがあればと日頃思っています。

「散歩可能コース・景観も兼ねた公園の構築」。東山公園は遠方で不便、桜山公園は高台で面積が狭い。高齢化社会に対応した環境整備が必要と考えます。

公園の充実（町なかにつくるべき）。東山公園など、お金のムダ使い、市民が通年、集える場所を市民が元気になる街づくりを。人口が少ない村や町でも、すごく頑張っているところもあるので参考にすべき。

3-3-2 低炭素社会の推進

自然災害が多くなり甚大な被害が起こっています。又地震等も頻繁にあり、不安で一杯です。これからも安寧な生活を守る、人命を守るとの強い信念があれば究極は地球に負荷をかけない事と思います。我が家でも太陽光パネル設置も考えた一時期もありましたが価格メンテナンス等々難点があり止めた経緯があります。

3-4-3 交通安全対策の充実

鹿角中央病院前の国道を横切る老人が増えていてたいへん怖いです。又冬道の自転車なんかかならないものでしょうか？

国道の鹿角大館間を車で走ると、道路脇の草が鹿角では伸び放題ですが、大館側は草がきれいに刈られていてとても気持ちがいいです。場所にもよりますが、草が伸びすぎて見通しが悪く事故になりそうです。

4-1-1 学校教育の充実

専門学校、研究機関や鹿角独自の勉強する場など環境を整えれば、外部や外国の若い人が増え、そこから何かが生まれてくると思う。「勉強」を市の柱として行けばもっと良いまちになると思う。

将来を担う子供達に各分野でのプロを招いて指導してもらい、夢多い人間を育成してほしい。

4-2-1 生涯学習の充実

学生の遊び場や勉強できる場所があればうれしい。

組合病院跡地につくる文化施設は無駄だと思います。

文化会館はあった方がいいと思う。そういった設備がないため、たとえば有名人のコンサート、公演などが疎遠となり、市民は市外へそれを求めに出ている。市民でなくとも、人が集えば活性化します。人を集める施設は多くは必要ないが、誇れる立派な施設が1つあれば、人は足を運び、それはまた出会い交流の場に結びつきます。文化会館の早期建設を願っております。

知識はそれぞれの財産につながるので、せめて図書館を充実させてほしい。都会のような便利さは求めているが、小さいけど住みやすい街にはなってほしいと思う。

鹿角の人や歴史にふれ、温故知新に努めたいと思います。

40周年を迎えたこれを機に鹿角の歴史を振りかえってみてはどうでしょう。私は鹿角に生まれ育って今まで昔の話をきいたことがありません。戦争の頃の話、どこから人々が集まってきているのか、このあたりの土地、地名の由来そういうのを若い子たちが知る機会があればと思います。

鹿角市の中学校、高校の吹奏楽のレベルが高いのに、音楽ホールが全くないのが不思議です。予定はないのでしょうか？もしないのなら強く要望します。

組合病院跡のセンター建設、あれは本当に必要なのだろうか。何に使用するのか。既存の交流センターやM I Tプラザではまかなえないか？多額の建設費はどんな捻出をするのか。市民に税金という形でその負債をあてがい、その代償としてそれに見合うだけの学習・文化の振興が本当に期待できるのか。無駄な建物になってしまう。

箱ものをつくるなら、他県、他市町村からも利用者が来るような、市が誇りに思えるきちんとしたものをつくってほしい。市長が文化交流施設に関して、駐車場が足りなければ街中の駐車場が近くにあると言っていたが、無料にしてくれるのか。不公平が生まれる。結局、混雑の元凶ではないか。

（仮称）学習文化交流施設の建設は、市民にとって画期的かつ有益な交流イベントが可能となることと思います。改善要望として、ホールの観客席700席を1000席に増席して頂きたい。

4-2-2 スポーツ環境の充実

スキーで街おこしはできますか？所得が低いのに子供にスキーをやらせることが出来ますか？行政でスキーに力を入れるのなら、教育委員会から分けるべきです。観光資源や外貨獲得資源を創造しましょう。

他県、他市町村からも利用者がくるような、市が誇りに思えるきちんとしたものをつくってほしい。例えば、総合運動公園にしても野球場が無い。

町中での交通規制をしいたロードレース等、魅力のない商店街にはどうせ集らないのだから、やめてほしい。交通（日常生活）の邪魔である。

アメニティーパークの街灯の時計が、ここ数年動いていなくて気になります。街の景観からも動いていた方が気持ちが良い。

グラウンドゴルフ場をつくってほしい。大館、北秋田市などいろいろな大会で交流しているが、鹿角市で会場整備が難しい。ゲートボールやパークゴルフで運動している人より何倍の人がグラウンドゴルフを楽しんでいる。

5-1-1 共働きのまちづくりの推進

共働という言葉を知りました。具体的に教えて下さい。

政策に関するもの
お金が無いことを理由に、年度ごとに事業に変化があるのは行政のサービスとしてどうなのでしょう。そもそも税収が少なくなってしまうのも市政の結果ではないのでしょうか。
これからの若い人が暮らしていくために市が行う取り組みの強化を希望します。住みやすく、暮らしやすい市であってほしいです。
やる事、作る物が中途半端！！もっと10年先、20年先を考えて物事を行うべき。もっと外に目を向けるべきだと思います。
市民税が高い。ホームページでアンケートした方がいいと思う。
魅力ある鹿角市であってほしい。
地域差を少なくする。
鹿角って青森にも八戸にも盛岡にも出やすいんだね！と驚かれます。まさに北東北の拠点となれる立地です。これももっと何かに役立てることはできないのでしょうか？鹿角市行政の力のみせどころではないでしょうか。
これからは市政に関心を持っていこうと思います。
設備、施設の投資はあと要らない。
市の政策について、市民の平均所得向上をもっと積極的に進めてほしい（具体策を提示しながら）
高齢者にも開かれた鹿角市を望みます。
市役所のほうで市民の為に一生懸命頑張ってる様子は伺えますが、役所ばかりが進んで、市民細部まで浸透していないように感じます。なんでも花輪、花輪で、十和田の参加意欲低下も感じます。市民をまとめるのは大変困難とは思いますが、活気のある鹿角が理想です。
市は建物を建てるだけで最後は一般に管理をさせ、市民への安全安心を忘れている様に思います。もっと管理をしっかりと行う。
派手さはないが、市民の側にたって行政をおこなっている。
施設を建築する時はその利用主体と協議する（改築を含む）
市独自による維持管理のできる施設、そして健全な財政運営、健全なる行政運営できることを望みます。
担い手の育成、林業の振興、子育て支援の充実、商店街の活性化、雇用環境の充実、観光の振興と効果が得られていると感じない。
人口増加に力を入れてほしい。

広報広聴（アンケートを含む）に関すること
市役所を訪れた際には、丁寧な対応をしてくれて、その点については嬉しく思っています。市の政策とか市の施策とか市の動きとか勿論「広報かづの」等で報告していると思いますが、それでも実際はあまりよく知られていない現状です。自分に必要な手続き等はその時に「そうだったんだ」「結構整備されているんだ」と感じます。実際に対峙した時以外でも、市の方でどのような活動をしているのかが伝わるようになればいいと思います。市民は聞く耳はあると思います。
公共交通機関、医療機関、商店、スーパー等の営業時間といった暮らしのガイドを、一枚の紙でもいいので発刊してもらえれば便利だと思います。
自治会に入っていない家庭にも広報を配布してほしいです。
政策39項目と言っても、何を行っているのか不透明なものが多い気がする。政策に興味が無いから、HP情報すらも閲覧しない自分も駄目なんだが、アンケート集めても何に活かそうとしてるのかよくわからない。

こういったアンケートなどをもって、実際に目に見えての変化等があるのか。広報のみでの取り上げになるのか。

この枠内には書ききれない。又、書いてもそれが生かされなければ意味がない。今の鹿角市が何をしようとしていて、どのような取り組みを行っているか、もっと広くアピールしていくべきだと思う。

市長に市民の声は届くんですか？右から左へ受け流されているなら、届いてないと思います。ぜひ、市民の代表としての「市長の声」を聞きたい。

職員に関すること

市役所内の雰囲気が悪い。用事があるから行ってるのに誰かが対応するだろうといった感じですぐに席を立てこない時もある。

市の職員も担当者一人ひとり、自分に合う合わないと対応で感じる事もあります。丁寧な方は親身になって対応してくれる方もいますけど、一人ひとりの声を大切に取り上げてもらいたいです。

市職員の活動を見ていると中年世代が頑張っているように見えます。一般企業では課長以上が最も頼りになり先頭にたって動いていますが、市職員の場合、課長になった途端そうではなくなる印象が強いです。役職手当を見直したらどうでしょうか？市職員の住宅手当は必要ないと思います。無駄な支出を控える方法を考えてください。

市役所の職員と各支所の職員で情報交換はしないのですか？同じ用件で市役所に行ったり別のところへ行ったり市役所の人と支所の人で言われることが違うので統一してほしい。

市役所、保健センターの窓口に行くけど、声を掛けるまで職員がイスに座って動かないのはどうなのかと思う。用事があるから行ってるのであって、もっと対応をきちんとした方が良いと思う。（きちんとしてくれる方も、もちろんいますが・・・）

市役所の手続き等時間がかかりすぎる。質問に答えられなかったり、いいかげんな答えが返ってきた。分からなかったら、分かる人がすぐに対応してほしい。

働く場所があまりないですね。行政で働く皆さんにはあまり感じないと思いますが、民間はいま大変ですよ。ボーナス、定昇、代休、有給、そんなものありません。それらが全て実行できる行政はうらやましい限りです。いろいろな声に耳を傾けるのは大変と思いますが頑張ってください。それがあなたたちの仕事なのですから。鹿角は良い所です。生かしましょう。期待しています。

介護認定の申し込みに行った時の事。初めてなので何もわからないのは当たり前だと思います。担当の人は面倒くさそうで、無愛想でした。調査の時間、曜日が決まっているのは分かります。しかし、上から目線でこちらの都合は全々聞いてもらえませんでした。市民が職員の都合にあわせるのではなく、職員が市民の都合にあわせるように少しは融通をきかせることをしてもよいのではないのでしょうか。

市民センターの雰囲気が暗い。市役所の窓口も疲れているように見える。もう少し笑顔になった方がいいと思います。

市役所職員の態度についてですが、一部の方だと思いますけれど面倒くさそうに接し、声もぼそぼそとやる気があるのかと感じられます。接遇の指導を職員に受けてもらいたいです。

市職員の対応の態度は今いち。また、その上司も部下の事を戒める様なこともせず、これでは外部から来たお客様に我が鹿角市民の「顔」であるべき立場の職員としてはと思わないのだろうか、残念です。

市の職員の対応が良くなってきていると思います。

市の職員についてですが、自治会の活動並びに事業等への関心がないのか、積極的な参加が無く残念に思います。豊富な知識、経験を持つ市職員のリーダーシップを期待します。

ミスと同僚や部下に転嫁しない。検討と言う言葉は内容が伴わないので期限を設定し早急に公表する。

その他

約 20 年前に、鹿角市吹奏楽連盟創立 30 周年記念曲として石川琢木の詩を引用した「鹿角へ、わが故郷へ」という曲を演奏、合唱しました。この曲は初演時以来、一度も演奏されないまま市役所に保管されている、と聞いたことがあります。その所在についてと演奏ができるのか知りたいです。鹿角市制施行と同時に設定された「市民歌」は、市役所の電話保留音以外に殆ど聞く機会がなく、知らない市民も多いです。市制施行式典での発表時には吹奏楽での演奏があったそうなので、演奏して市民の皆さんに聞かせたいと思うのですが楽譜は存在するのでしょうか。

大型ショッピングセンターがほしい。

バッシングセンター、ファーストフードのお店があれば、小、中高生はうれしいと思う。

現在澄川の地熱発電所が稼働しているが、鹿角市としては稼働によっての税金の軽減はないのか？

今、全国の自治体では東日本大震災のがれきを処理すべく協力することを請われている。確かに他人が困っているのを助けてやることは、人間として道理にかなっている。しかし、助けてやる手段はがれきの焼却だけだろうか。経済的に助けてやるとか、けがれなき食べ物を供給し続けてやることだって協力であると思う。

印鑑証明や戸籍謄本などを取り寄せた際の手数料の領収書に「ご苦労様でした」と書かれている事にお役所感を感じる。手数料を頂いているのだから、「ありがとうございます」ではないかと思う。

月 1 回でも、土曜に市役所などを使用できるようにしてもらいたい。

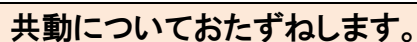
仕事をしていると、平日休みをとるのが大変なので、隔週でもよいので土日に手続きできるようにしていただきたいです。

市の借金があるのだから、ムダな税金は使わないで欲しい。例えば、今回配布された 40 周年記念ロゴシールは実際に使い道が無い。税金を使って 40 周年を盛り上げる必要があるのか。

市政施行 40 周年おめでとうございます。40 に掛けて地元 42 歳寿の年の人達に何かイベントものがあったてもおもしろいのでは？

資 料

平成24年度
市民アンケート 回答票

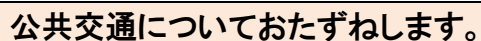


市では“市民、団体及び企業と市が、相互に良好な関係のもとで理念と情報を共有し、同じ視点で共に活動を進めていくこと”を「共動（きょうどう）」と表し、推進しています。

・「共働^{きょうどう}」という言葉を知ったことがありますか。 ☐ はい ☐ いいえ

・「共動」に共感できますか。 ☐ はい ☐ いいえ

理由がありましたら
お書きください。

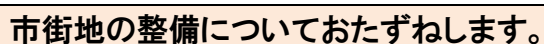


1. 徒歩
2. 自転車
3. 自家用車
4. タクシー
5. バス
6. 鉄道
7. その他（ ）

1. 感じる
2. 感じない
3. あまり利用しないのでわからない

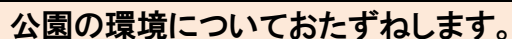


1. 運行本数をもっと増やす
2. ルートの変更や新しいルートをつくる
3. バス停を増やす
4. 運賃をもっと安くする
5. 改善の必要はない
6. その他（



1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である →
4. 不満である →

不満と感ずる理由：



1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満である →
4. 不満である →

不満の理由・要望等：



1. 毎日 →
2. 週に5日程度 →
3. 週に3～4日程度 →
4. 週に1～2日程度 →
5. 月に1～3日程度 →
6. ほとんど行っていない

主に行っているスポーツや運動： _____

1回あたりの運動時間： 約 _____ 時間 _____ 分

地域コミュニティについておたずねします。

問⑦ あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動など）にどの程度参加しましたか。

1. 10回以上
2. 4回～9回
3. 3回以下
4. 参加しなかった

男女共同参画の状況についておたずねします。



問⑧-1 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」とは、一人ひとりが充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを指した言葉です。

あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていましたか。

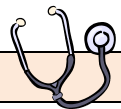
1. 知っていた
2. 知らなかった

問⑧-2 男女共同参画社会とは、固定的な男性観、女性観にとらわれず、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思で、個性と能力を発揮することができる社会をいいます。

あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

1. 男性のほうが優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性のほうが優遇されている
5. 女性のほうが優遇されている

地域医療についておたずねします。



問⑨-1 「かかりつけ医」とは、日頃から患者の体質や病歴、健康状態を把握し、診療行為や健康への助言などを行う身近な医師のことをいいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医を除く）」を決めていますか。

1. 決めている → **問⑨-3へ**
2. 決めていない → **問⑨-2へ**

問⑨-2 問⑨-1で「2. 決めていない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。最もあてはまるもの1つを選んでください。

1. 症状等で診療科ごとに受診先を替えているから
2. 病気になったら総合病院を受診するから
3. 「かかりつけ医」にしたいような医療機関がないから
4. その他 →

具体的に：

問⑨-3 あなたは、普段、在宅当番医を利用していますか。

1. 利用している → 問⑩へ
2. 利用していない → 問⑨-4へ

問⑨-4 問⑨-3で「2. 利用していない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 病気になったら総合病院の救急を受診するから
2. 受診したい診療科目の医師ではなかったから
3. 受診したい時間帯ではなかったから
4. その他 →

具体的に：

鹿角市が他のまちに誇れるものについておたずねします。

設問⑩ あなたが普段「わがまち“鹿角市”が他のまちに誇れる」と感じているものを、順に3つまで挙げてください。

1 番.

2 番.

3 番.

市の政策についておたずねします。

設問⑪ 市が進めている取り組みの中で、効果が得られていると感じるものを下表の 39 項目から順に 5 つ選んでください。（理由がありましたらその記入をお願いします）

1 番. 理由

2 番. 理由

3 番. 理由

4 番. 理由

5 番. 理由

農林業の振興

担い手の育成

1

農業生産の振興

2

農地の保全

3

林業の振興

4

福祉の充実

地域福祉の充実

10

子育て支援の充実

11

高齢者福祉の充実

12

障害者福祉の充実

13

商工業の振興

商店街の活性化

5

中小企業の振興

6

雇用環境の充実

7

保健・医療の充実

健康づくりの推進

14

母子保健の充実

15

地域医療体制の充実

16

観光業の振興

観光の振興

8

交流居住の推進

9

交通基盤の整備

公共交通の確保

17

道路網の整備

18

市の政策についておたずねします。

設問⑫ 市が進めている取り組みの中で、もっと「力」を入れて欲しいと感じるものを下表の 39 項目から順に 5 つ選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします)

1 番. 理由

2 番. 理由

3 番. 理由

4 番. 理由

5 番. 理由

住環境の整備

- 地域情報化の推進 19
- 生活排水処理の推進 20
- 水道水の安定供給 21
- 市街地の整備 22
- 住宅の整備 23
- 公園の充実 24

学校教育の推進

- 学校教育の充実 32

生涯学習の推進

- 生涯学習の充実 33
- スポーツ環境の充実 34
- 文化財の保存と活用 35

人と自然に優しい環境づくり

- 自然環境の保全 25
- 低炭素社会の推進 26
- ごみ減量化の推進 27

市民参加と地域づくりの推進

- 共働のまちづくりの推進 36
- 地域コミュニティの活性化 37
- 男女共同参画の推進 38
- 国際交流の推進 39

安全に暮らせる市民生活の確保

- 防災体制の充実 28
- 消防・救急体制の充実 29
- 交通安全対策の充実 30
- 防犯・消費者保護の充実 31

設問⑬ 市の政策・事業・各種の手続き等について知りたい点、提言、改善要望等がありましたらご自由にお書きください。

（広報で「市民の声」として取り上げさせていただく場合があります。）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

回収に伺う市役所の担当者へお渡しください。

平成24年度
市民アンケート実施結果報告書

平成24年8月
鹿角市総務部政策企画課
電話：0186-30-0201